

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考																																																																							
共通編 1章 基本事項	共通-18	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">工種 (レベル2)</th> <th style="width: 15%;">種別 (レベル3)</th> <th style="width: 15%;">細別 (レベル4)</th> <th style="width: 15%;">規格 (レベル5)</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">数値</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td></td> <td>掘削(砂防)(ICT)</td> <td>土質 障害の有無 施工数量</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td>土工</td> <td>(路体・路床)盛土工</td> <td>路体(築堤)盛土</td> <td>施工幅員</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満の場合は10m3</td> </tr> </tbody> </table>	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考	土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3	他基準と整合																																																		
		工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考																																																																		
		土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																																																		
		土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3																																																																		
		共通-19	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>共通の工種</td> <td>吹付工</td> <td>吹付(モルタル,コンクリート)</td> <td>セメント種類 吹付厚</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>法面施肥工</td> <td>法面施肥</td> <td>施工区分</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>植生工</td> <td>腐植酸種子散布</td> <td></td> <td>m2</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>補強土壁工</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>コンクリート規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁</td> <td>土質</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>壁面材の種類</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>軽量盛土工</td> <td>軽量盛土</td> <td></td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1		共通の工種	法面施肥工	法面施肥	施工区分	m2	1		共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10			共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1		共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁	土質	m2	1		共通の工種		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m2	1		共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1																						
		共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1																																																																			
		共通の工種	法面施肥工	法面施肥	施工区分	m2	1																																																																			
		共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10																																																																			
		共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1																																																																			
		共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁	土質	m2	1																																																																			
	共通の工種		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m2	1																																																																				
	共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1																																																																				
	共通-18	共通-19	改定																																																																							
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">工種 (レベル2)</th> <th style="width: 15%;">種別 (レベル3)</th> <th style="width: 15%;">細別 (レベル4)</th> <th style="width: 15%;">規格 (レベル5)</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 5%;">数値</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土工</td> <td></td> <td>掘削(砂防)(ICT)</td> <td>土質 障害の有無 施工数量</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">土工</td> <td></td> <td style="color: red;">河床等掘削(ICT)</td> <td></td> <td style="color: red;">m3</td> <td style="color: red;">100</td> <td style="color: red;">ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td>土工</td> <td>(路体・路床)盛土工</td> <td>路体(築堤)盛土</td> <td>施工幅員</td> <td>m3</td> <td>100</td> <td>ただし1,000m3未満の場合は10m3</td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>吹付工</td> <td>吹付(モルタル,コンクリート)</td> <td>セメント種類 吹付厚</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f8d7da;">共通の工種</td> <td style="background-color: #f8d7da;">植生工</td> <td style="background-color: #f8d7da;">腐植酸種子散布</td> <td style="background-color: #f8d7da;"></td> <td style="background-color: #f8d7da;">m2</td> <td style="background-color: #f8d7da;">10</td> <td style="background-color: #f8d7da;"></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>補強土壁工</td> <td>補強土壁基礎</td> <td>コンクリート規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td>帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁</td> <td>土質</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td></td> <td style="color: red;">補強盛土</td> <td>壁面材の種類</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通の工種</td> <td>軽量盛土工</td> <td>軽量盛土</td> <td></td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考	土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工		河床等掘削(ICT)		m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3	土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3	共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1		共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10		共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1		共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁	土質	m2	1		共通の工種		補強盛土	壁面材の種類	m2	1		共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1		
			工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考																																																																	
			土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																																																	
			土工		河床等掘削(ICT)		m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3																																																																	
			土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3																																																																	
			共通の工種	吹付工	吹付(モルタル,コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1																																																																		
			共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10																																																																		
共通の工種			補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1																																																																			
共通の工種				帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁	土質	m2	1																																																																			
共通の工種		補強盛土	壁面材の種類	m2	1																																																																					
共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1																																																																					

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行						備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-20 共通-21	石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	基礎材規格(砕石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2	
		石・ブロック積(張)		小口止コンクリート	コンクリート規格	m3	1		
		石・ブロック積(張)		養生費	養生工の種類	m3	1		
	共通-22	地盤改良工		ペーパードレーン	SCP杭径 材料規格 長さ(打設長)	本	1		
		地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションバイル	径	本	1		
	改 定								
	共通編 1章 基本事項	共通-20 共通-21	石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	基礎材規格(砕石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
			石・ブロック積(張)		現場打小口止コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
			石・ブロック積(張)		プレキャスト小口止ブロック	幅 高さ	m	0.1	
石・ブロック積(張)				現場打横帯(隔壁)コンクリート	コンクリート規格	m3	1		
石・ブロック積(張)				プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	幅 高さ	m	0.1		
石・ブロック積(張)				プレキャスト巻止ブロック	幅 高さ	m	0.1		
石・ブロック積(張)				養生費	養生工の種類	m3	1		
共通-22		地盤改良工		PVD(プレファブリケイ ティッドパーチカルドレーン)	SCP杭径 材料規格 長さ(打設長)	本	1		
		地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションバイル	径	本	1		

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行						備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-23	構造物撤去工		現場発生品運搬	発生材種類	回	1	他基準 と整合	
		構造物撤去工		コンクリート削孔		孔	1		
		構造物撤去工		車止めポスト撤去	車止めポスト規格 作業区分	本	1		
		構造物撤去工		遮光フェンス撤去		m	1		
		構造物撤去工		標識撤去		基	1		
	共通-24	仮設工	砂防仮締切工	土砂締切		(m3)	(1)		
		仮設工		土砂土のう締切		(m3)	(1)		
		仮設工		コンクリート締切		(m3)	(1)		
		仮設工	工事用道路工	敷砂利	材料規格 厚さ	(m2)	(1)		
		仮設工		工事用道路補修		式	1		
			仮設工		防寒養生		(m3)		(1)
			仮設工		小規模構造物防寒養生		(箇所)		(1)
	改 定								
	共通-23	構造物撤去工		現場発生品運搬	発生材種類	t	0.1		
		構造物撤去工		コンクリート削孔		孔	1		
共通-24	構造物撤去工		横断歩道橋側板(掘廻・目隠)撤去	取外し部材規格	m2	1			
	構造物撤去工		遮光フェンス撤去		m	1			
共通-24	仮設工	砂防仮締切工	土砂締切		(m3)	(1)			
	仮設工		大型土のう締切		(m3)	(1)			
	仮設工		コンクリート締切		(m3)	(1)			
	仮設工	工事用道路工	敷砂利	材料規格 厚さ	(m2)	(1)			
	仮設工		敷鉄板	鋼材規格・作業区分	m2	1			
	仮設工		工事用道路補修		式	1			
		仮設工		防寒養生		(m3)	(1)		
		仮設工		小規模構造物防寒養生		(m3)	(1)		
		仮設工	仮設昇降用階段	仮設昇降用階段	(m)	(1)			

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考																																																	
共通編 1章 基本事項	共通-26	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート構造物</td> <td style="width: 20%;">場所打擁壁工(構造物単位)</td> <td style="width: 20%;">逆T型擁壁</td> <td style="width: 20%;">本体コンクリート規格</td> <td style="width: 10%;">m3</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>L型擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ガードケーブル</td> <td>ガードケーブル規格 建込条件</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ボックスビーム</td> <td>ボックスビーム規格</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>基礎ブロック(立入防止柵)</td> <td>寸法 作業区分</td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>車止めポスト</td> <td>車止めポスト径 車止めポスト長さ</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>階段工</td> <td>現場打階段</td> <td>コンクリート規格 砕石規格</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1		付属施設		ボックスビーム	ボックスビーム規格	m	1		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1		付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1		他基準 と整合
		コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																													
		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																													
		付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1																																													
		付属施設		ボックスビーム	ボックスビーム規格	m	1																																													
		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1																																													
		付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1																																													
		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1																																													
		改定																																																		
		共通-26	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート構造物</td> <td style="width: 20%;">場所打擁壁工(構造物単位)</td> <td style="width: 20%;">逆T型擁壁</td> <td style="width: 20%;">本体コンクリート規格</td> <td style="width: 10%;">m3</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>もたれ式擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート構造物</td> <td></td> <td>L型擁壁</td> <td>本体コンクリート規格</td> <td>m3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		もたれ式擁壁	本体コンクリート規格	m3	1		コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																													
	コンクリート構造物		場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																													
	コンクリート構造物			もたれ式擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																													
	コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1																																														
	共通-27	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">付属施設</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">ガードケーブル</td> <td style="width: 20%;">ガードケーブル規格 建込条件</td> <td style="width: 10%;">m</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>基礎ブロック(立入防止柵)</td> <td>寸法 作業区分</td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1		付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1																																					
		付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1																																													
	付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">付属施設</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">車止めポスト</td> <td style="width: 20%;">車止めポスト径 車止めポスト長さ</td> <td style="width: 10%;">本</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>ワイヤロープ防護柵工</td> <td>端末基礎・端末金具</td> <td>種別 設置形式</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>支柱</td> <td>種別 設置形式 設置箇所</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ワイヤロープ</td> <td>種別</td> <td>m</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>ターンバックル</td> <td>種別 設置箇所</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td></td> <td>橋梁部基礎・支柱</td> <td>種別</td> <td>箇所</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>付属施設</td> <td>階段工</td> <td>現場打階段</td> <td>コンクリート規格 砕石規格</td> <td>m2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1		付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	種別 設置形式	箇所	1		付属施設		支柱	種別 設置形式 設置箇所	本	1		付属施設		ワイヤロープ	種別	m	1		付属施設		ターンバックル	種別 設置箇所	箇所	1		付属施設		橋梁部基礎・支柱	種別	箇所	1		付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1			
	付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1																																														
	付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	種別 設置形式	箇所	1																																														
	付属施設		支柱	種別 設置形式 設置箇所	本	1																																														
付属施設		ワイヤロープ	種別	m	1																																															
付属施設		ターンバックル	種別 設置箇所	箇所	1																																															
付属施設		橋梁部基礎・支柱	種別	箇所	1																																															
付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m2	1																																															

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現行	備考						
共通編 1章 基本事項	共通-27	付属施設	雪崩予防柵アンカー	アンカー規格	本	1			
		付属施設	落石防止網工	ロックネット	網規格(種別) 網規格(寸法) アンカー規格・仕様 支柱規格・仕様	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2	
		付属施設		縦横網	縦横網規格	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2	
		付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	アンカー形式 アンカー支柱間隔 アンカー材料規格	本	1		
		付属施設	情報案内施設工	案内板	材質 形状	箇所	1		
		防護柵工	防止柵工	遮光フェンス	種別 支柱間隔 作業条件	m	1		
		河川構造物	土台基礎工	土台		m	1		
		共通-28	河川構造物		コンクリート規格				
			河川構造物	横帯ブロック	ブロック規格 底幅 高さ	m	1		
			河川構造物	小口止	コンクリート規格	m	0.1		
	改定								
	共通-27	共通-27	付属施設	雪崩予防柵アンカー	アンカー規格	本	1		
			付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	アンカー形式 アンカー支柱間隔 アンカー材料規格	本	1	
		共通-28	付属施設	情報案内施設工	案内板	材質 形状	箇所	1	
			河川構造物	土台基礎工	土台		m	1	
			河川構造物	護岸付属物工	横帯(隔壁)コンクリート	高さ 幅 高さ コンクリート規格	m	0.1	
		河川構造物		横帯ブロック	ブロック規格	m	1		

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行					備 考		
共通編 1章 基本事項	共通-29	砂防		足場	安全ネットの有無	(m)	(1)	他基準と整合	
		砂防		隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m3	1		
		砂防		現場打水路	内幅 内高 コンクリート規格	m	1		
	砂防	仮締切工	中詰・締切盛土撤去		m3	10			
	砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	粒径処理率	m3	1			
	改 定								
	共通-29	砂防		足場	安全ネットの有無	(m)	(1)		
		砂防		チッピング(岩盤面・打雑面)		m2	1		
		砂防		チッピング(季節環境護付け面)		m2	10		ただし100m2未満の場合は1m2
		砂防		岩盤清掃		m2	1		
砂防			隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m3	1			
共通-30	砂防		現場打水路	内幅 内高 コンクリート規格	m	1			
	砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	粒径処理率	m3	1			



# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行					備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-33	トンネル(NATM)	各種設備	式	1		他基準と整合	
		トンネル(矢板)	掘削工	掘削	掘削区分(岩)	m		0.1
		トンネル(矢板)	支保工	鋼製支保	掘削区分(岩)	(基)		(1)
		トンネル(矢板)	覆工・防水工	覆工コンクリート・防水	掘削区分(岩)	m		0.1
		トンネル(矢板)		止水板	止水板種類・寸法	m		1
		トンネル(矢板)		床版コンクリート	巻厚・コンクリート規格	m		1
		トンネル(矢板)		表込注入	注入材種類 配合 トンネル種別 トンネル平均距離 足場の有無	m3		1
		トンネル(矢板)	インバート工	インバート掘削	掘削区分(岩)	m		0.1
		トンネル(矢板)		インバート	掘削区分(岩)	m		0.1
		トンネル(矢板)	坑内付帯坑	箱扱	掘削区分(岩)	箇所		1
	トンネル(矢板)		表面排水	コンクリート規格 材料規格	m	1		
	トンネル(矢板)		湧水処理	コンクリート規格 材料規格 削孔の有無 削孔長	箇所	1		
	トンネル(矢板)		中央排水	管種 管径	m	1		
	トンネル(矢板)		横断排水	管種 管径	箇所	1		
	トンネル(矢板)		集水樹	集水樹種類 現場打材種類 コンクリート規格 基礎コンクリート規格	箇所	1		
	共同溝	掘削工	掘削	土留方式	m3	100		ただし1,000m3未満の場合は10m3
	共通-33	改 定						
		トンネル(NATM)	各種設備	式	1			
共同溝		掘削工	掘削	土留方式	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3	

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

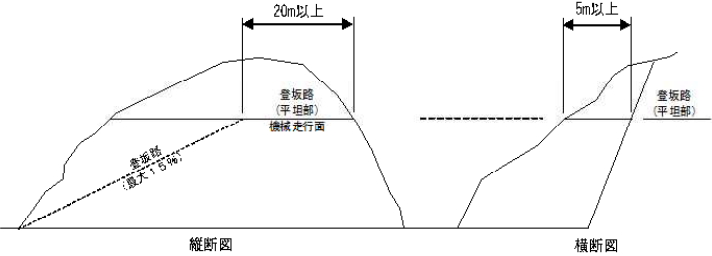
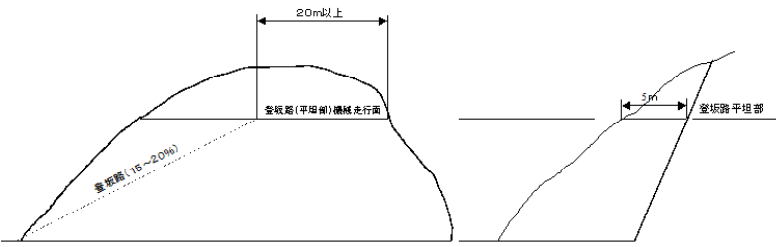
適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	頁・行	現 行						備 考	
共通編 1章 基本事項	共通-36	道路維持		バッチング	材料種類	t	0.1	他基準と整合	
		道路維持	付属物復旧工	ガードレール復旧	作業区分 使用材料	m	1		
		道路維持		ガードケーブル復旧	ガードケーブル規格 材料費の有無 作業条件	m	1		
		道路維持		ガードパイプ復旧	作業区分 使用材料	m	1		
		道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類	m	1		
		道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	作業形態 塵芥量	m <sup>2</sup>	1		
		道路維持	路肩整正	路肩整正(機械)	作業形態	km	0.1		
		道路維持		路肩整正(人力)	作業形態 運搬距離	m <sup>2</sup>	100		
		道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	作業形態 側溝蓋規格	m	10		
		道路維持			ガードレール清掃車機種				
	道路維持		ガードパイプ清掃	作業形態	m	1			
	道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	作業形態	km	0.1			
	改 定								
	共通-36		道路維持		バッチング	材料種類	t		0.1
		道路維持	付属物復旧工	ガードケーブル復旧	ガードケーブル規格 材料費の有無 作業条件	m	1		
		道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類	m	1		
		道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	作業形態 塵芥量	m <sup>2</sup>	1		
		道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	作業形態 側溝蓋規格	m	10		
		道路維持			ガードレール清掃車機種				
		道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	作業形態	km	0.1		



# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
共通編 2章 土工	共通-18	<p>(7) ダンプトラック登坂路の検討 掘削後ダンプトラックにより土砂搬出する場合において、下記の条件を満たすときは登坂路を検討する。</p> <p>① ダンプトラックの登坂路として、幅員5mを確保し、登坂路の勾配は次を目安とすること。 土砂運搬の場合最大1.5%、資材・機材の搬入搬出がある場合最大1.0%程度 勾配は、資材種別、運搬車種などを考慮のうえ適宜設定する。</p> <p>② 積込箇所の作業ヤードとして延長20m以上の平坦部が確保できること。</p>  <p>縦断面図 横断面図</p> <p>(8) 登坂路を設ける場合の掘削機械の選定</p> <p>① 掘削機械の機械走行面は、ダンプトラックが走行する登坂路の路面とする。</p> <p>② 掘削機械の走行幅が5m以上ある場合、登坂路面上方5mの高さの範囲、及び登坂路下方5mの高さの範囲の掘削はバックホウのオープンカットを適用する。</p> <p>③ 上記②以外で、登坂路面から上方5mの高さを越え切取幅が5mまでの範囲の掘削は、ブルドーザ or バックホウを適用する。</p>	<p>(7) ダンプトラック登坂路の検討 掘削後ダンプトラックにより土砂搬出する場合において、下記の条件を満たすときは登坂路を検討する。</p> <p>① ダンプトラックの登坂路として縦断勾配1.5～2.0%、幅員5mが確保できること。</p> <p>② 積込箇所の作業ヤードとして延長20m以上の平坦部が確保できること。</p> <p>(8) 登坂路を設ける場合の掘削機械の選定</p> <p>① 掘削機械の機械走行面は、ダンプトラックが走行する登坂路の路面とする。</p> <p>② 掘削機械の走行幅が5m以上ある場合、登坂路面上方5mの高さの範囲、及び登坂路下方5mの高さの範囲の掘削はバックホウのオープンカットを適用する。</p> <p>③ 上記②以外で、登坂路面から上方5mの高さを越え切取幅が5mまでの範囲の掘削は、ブルドーザ or バックホウを適用する。</p> 	記載の 改定

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																												
共通編  3章 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工	共通-92	2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。 3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。 4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。 5. ベースプレート式H型鋼支柱(H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 <del>7. 複数段積みの場合、雑工種による区分は、平面的に(上から見て)区分する。</del> <p>(2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">雑工種</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 排水材+基礎碎石+敷砂</li> <li>— 排水材+基礎碎石</li> <li>— 排水材+敷砂</li> <li>— 基礎碎石+敷砂</li> <li>— 排水材</li> <li>— 基礎碎石</li> <li>— 敷砂</li> <li>— 無し</li> </ul> </div>	2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。 3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。 4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。 5. ベースプレート式H型鋼支柱(H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難い場合については別途考慮する。 (2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。 雑工種 <ul style="list-style-type: none"> <li>— 排水材+基礎碎石+敷砂</li> <li>— 排水材+基礎碎石</li> <li>— 排水材+敷砂</li> <li>— 基礎碎石+敷砂</li> <li>— 排水材</li> <li>— 基礎碎石</li> <li>— 敷砂</li> <li>— 無し</li> </ul>	記載の追加																																																												
共通編  6章 擁壁工 6.3 補強盛土工	共通-144	(1) 数量算出項目及び区分一覧表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区分項目</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 10%;">数量</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し、締固め</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"><del>m<sup>3</sup></del></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分項目	規格	単位	数量	備考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m <sup>2</sup>			ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m <sup>2</sup>			ジオテキスタイル敷設	○	m <sup>2</sup>			まき出し・敷均し、締固め	○	<del>m<sup>3</sup></del>			ジオテキスタイル(材料費)	○	m <sup>2</sup>			(1) 数量算出項目及び区分一覧表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">区分項目</th> <th style="width: 10%;">規格</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 10%;">数量</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル壁面材(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル敷設</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>まき出し・敷均し、締固め</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"><del>m<sup>2</sup></del></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ジオテキスタイル(材料費)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分項目	規格	単位	数量	備考	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m <sup>2</sup>			ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m <sup>2</sup>			ジオテキスタイル敷設	○	m <sup>2</sup>			まき出し・敷均し、締固め	○	<del>m<sup>2</sup></del>			ジオテキスタイル(材料費)	○	m <sup>2</sup>			誤記の訂正
区分項目	規格	単位	数量	備考																																																												
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m <sup>2</sup>																																																														
ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m <sup>2</sup>																																																														
ジオテキスタイル敷設	○	m <sup>2</sup>																																																														
まき出し・敷均し、締固め	○	<del>m<sup>3</sup></del>																																																														
ジオテキスタイル(材料費)	○	m <sup>2</sup>																																																														
区分項目	規格	単位	数量	備考																																																												
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m <sup>2</sup>																																																														
ジオテキスタイル壁面材(材料費)	○	m <sup>2</sup>																																																														
ジオテキスタイル敷設	○	m <sup>2</sup>																																																														
まき出し・敷均し、締固め	○	<del>m<sup>2</sup></del>																																																														
ジオテキスタイル(材料費)	○	m <sup>2</sup>																																																														

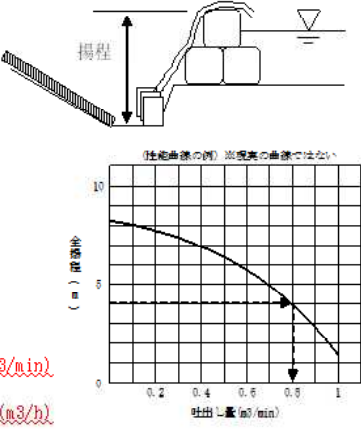
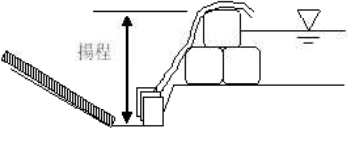


# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																								
共通編 10章 構造物取壊し工 10.2 旧橋撤去工	共通-216	関連数量算出項目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場・防護・ベント等</td> <td></td> <td></td> <td>「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照</td> </tr> <tr> <td>現場発生品運搬</td> <td>回</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	項目	単位	数量	備考	足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照	現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上	関連数量算出項目 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足場・防護・ベント等</td> <td></td> <td></td> <td>「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照</td> </tr> <tr> <td>現場発生品運搬</td> <td>回</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)現場発生品の運搬をする場合は、質量(t)についても算出する。</p>	項目	単位	数量	備考	足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照	現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上	他基準と整合
項目	単位	数量	備考																									
足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照																									
現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上																									
項目	単位	数量	備考																									
足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照																									
現場発生品運搬	回		必要な場合別途計上																									
共通編 11章 仮設工 11.1.2 土のう締切工	共通-230	(注) 1. 62×48cmのホリI形製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m <sup>3</sup> とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については工程を考慮し適切に選択すること。 4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。	(注) 1. 62×48cmのホリI形製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は0.02m <sup>3</sup> とする。 2. 大型土のうは、1袋あたり1.1m(幅)×1.1m(高さ)により必要数量を算出する。 3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については行程を考慮し適切に選択すること。 4. 転用回数の制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。	誤記の訂正																								

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
共通編 11章 仮設工 11.2 締切排水工	共通-236	<p>② 排水量の測定方法は次を参考とすること。</p> <p>(a) ポンプの性能による方法                      現場において実際に設置したポンプの台数とポンプのカタログ等に記載の吐出し量から求める。なお、カタログ等の性能曲線における全揚程は、床面下面から、締切の上端までの高さ(揚程)を用いるものとする。                      また、実際に設置したポンプと、カタログ等が同一であることを確認できるように、受注者はポンプの設置状況およびポンプの品名等を写真により記録し、工事監督員に提出する。</p> <p>《算出例》実際に設置したポンプが3台、揚程が4m、カタログの性能曲線が右の図の場合</p> <p>全揚程=揚程=4mなので、性能曲線で全揚程4mの場合、吐出し量0.8(m<sup>3</sup>/min)となる。単位がmin(分)なので、60倍して、<math>3(台) \times 0.8(m^3/min) \times 60(min/h) = 144(m^3/h)</math></p> <p>(b) 水槽による測定                      ポンプにより締切内水位を掘削底面付近で一定に保ち、ポンプ排水口を水槽に放出し、水槽の放水口に三角堰等を設置して越流水深を測定し、排水量を算出する。または、水槽への貯留量・貯留時間を測定し排水量を算出する。</p> <p>(c) 回復法                      工事排水中に一旦ポンプを停止、掘削底面を水面内に浸して、一様な水面になってから、水位の回復に要する時間を計測し、この間の貯留量を求める。</p>   	<p>② 排水量の主な測定方法は次のとおり。</p> <p>(a) 水槽による測定                      ポンプにより締切内水位を掘削底面付近で一定に保ち、ポンプ排水口を水槽に放出し、水槽の放水口に三角堰等を設置して越流水深を測定し、排水量を算出する。または、水槽への貯留量・貯留時間を測定し排水量を算出する。</p> <p>(b) 回復法                      工事排水中に一旦ポンプを停止、掘削底面を水面内に浸して、一様な水面になってから、水位の回復に要する時間を計測し、この間の貯留量を求める。</p> 	元の通知文と整合
共通編 11章 仮設工 11.12 敷鉄板設置撤去工	共通-281	<p>1. 適用</p> <p>工事用道路工事等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の敷鉄板設置・撤去作業に適用する。</p> <p>なお、工事用道路(工事用車両の仮設道路であって、二股車両が通行するものを除く)については、原則、敷鉄板を使用する。ただし、災害復旧工事や、小規模な工事の場合、土地管理者との協議結果等により、敷鉄板の使用が適さない場合は除く。</p>	<p>1. 適用</p> <p>工事用道路工事等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の敷鉄板設置・撤去作業に適用する。</p>	記載の追記

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																		
河川・砂防編  1章 護岸・根固工  1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防 -14	<p>1. 適用</p> <p>コンクリートブロック積工、コンクリートブロック張工及び緑化ブロック積工に適用する。  <del>なお、コンクリートブロック積工は、間知ブロック積及び大型ブロック積を対象とし、コンクリートブロック張工は、平ブロック張及び連節ブロック張を対象とする。</del></p> <p>2. 数量算出項目</p> <p><del>間知</del>ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張、緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出防止材(全面)設置、植樹、現場打基礎コンクリート、<del>現場打小口止コンクリート、現場打横帯(隔壁)、コンクリート、現場打天端コンクリート、プレキャスト基礎ブロック、プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯(隔壁)ブロック、プレキャスト巻止ブロック</del>の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>②<del>間知</del>ブロック積(施工パッケージ型積算方式を適用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>鉄筋規格</th> <th>鉄筋 10m2当り 使用量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><del>間知</del>ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. <del>間知</del>ブロック積工は勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上<del>730</del>kg/個以下の場合である。                  2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、<del>横帯(隔壁)</del>、天端コンクリートは別途計上する。                  3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p> <p>③大型ブロック積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロック規格</th> <th><del>ブロックの質量</del></th> <th>水抜きパイプの有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 大型ブロック積工は、勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上の場合である。                  2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、<del>横帯(隔壁)</del>、天端コンクリートは別途計上する。                  3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考	<del>間知</del> ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>			区分	ブロック規格	<del>ブロックの質量</del>	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考	大型ブロック積	○	○	○	m <sup>2</sup>			<p>1. 適用</p> <p>コンクリートブロック積工、コンクリートブロック張工及び緑化ブロック積工に適用する。</p> <p>2. 数量算出項目</p> <p>コンクリートブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張、緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出防止材(全面)設置、植樹、現場打基礎コンクリート、天端コンクリート、プレキャスト基礎ブロック、小口止、横帯コンクリート、巻止コンクリートの数量を区分ごとに算出する。</p> <p>②コンクリートブロック積(施工パッケージ型積算方式を適用)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>鉄筋規格</th> <th>鉄筋 10m2当り 使用量</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. <del>コンクリート</del>ブロック積工は勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上<del>450</del>kg/個以下の場合である。                  2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。                  3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p> <p>③大型ブロック積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>水抜きパイプの有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブロック積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 大型ブロック積工は、勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上の場合である。                  2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。                  3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考	コンクリートブロック積	○	○	m <sup>2</sup>			区分	ブロック規格	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考	大型ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>			他基準と整合
	区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考																																																
<del>間知</del> ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>																																																			
区分	ブロック規格	<del>ブロックの質量</del>	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考																																																
大型ブロック積	○	○	○	m <sup>2</sup>																																																		
区分 項目	鉄筋規格	鉄筋 10m2当り 使用量	単位	数量	備考																																																	
コンクリートブロック積	○	○	m <sup>2</sup>																																																			
区分	ブロック規格	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考																																																	
大型ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>																																																			
	河川・砂防 -15																																																					

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

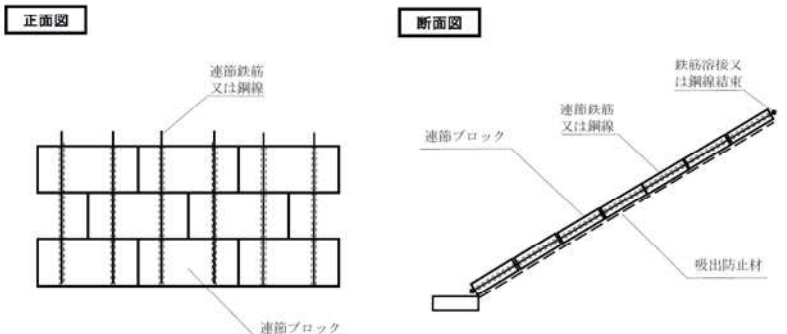
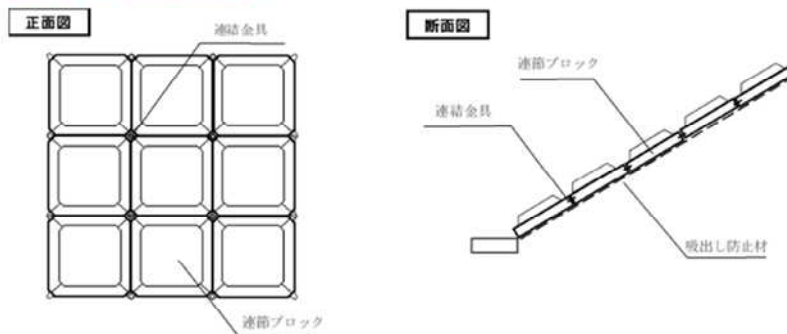
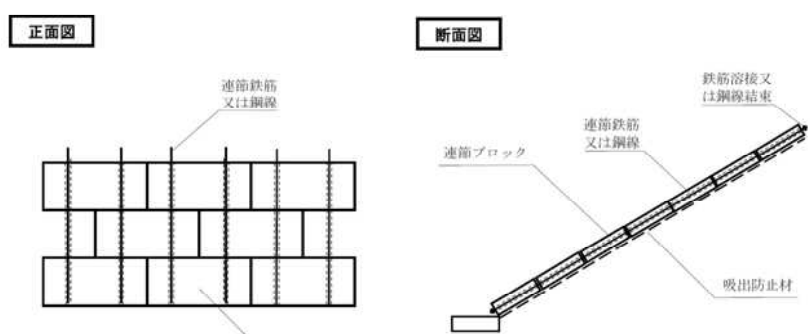
適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																																																																																				
河川・砂防編 1章 護岸・根固工  1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防 -15	<p>⑥連節ブロック張</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>ブロックの質量</th> <th>連結方法</th> <th>連節鉄筋(鋼線)規格</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連節ブロック張</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 連節ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。 2. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、<u>横帯(隔壁)</u>、天端コンクリートは別途計上する。 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。</p>	区分	ブロックの質量	連結方法	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>			<p>⑥連節ブロック張</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>作業区分</th> <th>ブロックの質量</th> <th>連節鉄筋(鋼線)規格</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連節ブロック張</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 連節ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。 2. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。</p>	区分	作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>			他基準と整合																																																																
	区分	ブロックの質量	連結方法	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考																																																																																															
	連節ブロック張	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>																																																																																																	
区分	作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考																																																																																																
連節ブロック張	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>																																																																																																		
河川・砂防 -16	<p>⑧胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出し防止材(全面)設置、植樹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>ブロックの種類</th> <th>ブロックの質量</th> <th>胴込裏込規格</th> <th>遮水シート規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胴込・裏込コンクリート</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込材(砕石)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮水シート張</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材(全面)設置</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植樹</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	ブロックの質量	胴込裏込規格	遮水シート規格	単位	数量	備考	胴込・裏込コンクリート	○	○	○	×	×	m <sup>3</sup>			胴込・裏込材(砕石)	×	○	×	○	×	m <sup>3</sup>			遮水シート張	×	×	×	×	○	m <sup>2</sup>			吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	×	m <sup>2</sup>			植樹	×	×	×	×	×	本			<p>⑧胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出し防止材(全面)設置、植樹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>ブロックの種類</th> <th>胴込裏込規</th> <th>遮水シート規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胴込・裏込コンクリート</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込材(砕石)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>遮水シート張</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸出し防止材(全面)設置</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植樹</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。</p>	区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	胴込裏込規	遮水シート規格	単位	数量	備考	胴込・裏込コンクリート	○	○	×	×	m <sup>3</sup>			胴込・裏込材(砕石)	×	○	○	×	m <sup>3</sup>			遮水シート張	×	×	×	○	m <sup>2</sup>			吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	m <sup>2</sup>			植樹	×	×	×	×	本		
区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	ブロックの質量	胴込裏込規格	遮水シート規格	単位	数量	備考																																																																																																
胴込・裏込コンクリート	○	○	○	×	×	m <sup>3</sup>																																																																																																		
胴込・裏込材(砕石)	×	○	×	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																		
遮水シート張	×	×	×	×	○	m <sup>2</sup>																																																																																																		
吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																		
植樹	×	×	×	×	×	本																																																																																																		
区分	生コンクリート規格	ブロックの種類	胴込裏込規	遮水シート規格	単位	数量	備考																																																																																																	
胴込・裏込コンクリート	○	○	×	×	m <sup>3</sup>																																																																																																			
胴込・裏込材(砕石)	×	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																			
遮水シート張	×	×	×	○	m <sup>2</sup>																																																																																																			
吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																			
植樹	×	×	×	×	本																																																																																																			
河川・砂防 -17	<p>⑩現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯(隔壁)コンクリート、プレキャスト横帯(隔壁)ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">×</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯(隔壁)コンクリート</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック(材料費)</td> <td>×</td> <td>取</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。 2. 現場打小口止コンクリート及び現場打横帯(隔壁)コンクリートについては、体積(m<sup>3</sup>)も算出すること。</p>	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート	○	×	○	m			プレキャスト小口止ブロック	×	取			プレキャスト小口止ブロック(材料費)	×	取			現場打横帯(隔壁)コンクリート	○	m			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	×	取			プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)	×	取			プレキャスト巻止ブロック	×	m			プレキャスト巻止ブロック(材料費)	×	取			裏込材	×	m <sup>2</sup>			目地材	×	m <sup>2</sup>			基礎材	×	m <sup>2</sup>			<p>⑩小口止、横帯コンクリート、巻止コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小口止</td> <td rowspan="7">○</td> <td rowspan="7">×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横帯コンクリート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>巻止コンクリート</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎材</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。 2. 小口止、横帯コンクリート及び巻止コンクリートについては、体積(m<sup>3</sup>)も算出すること。</p>	区分	規格	構造	単位	数量	備考	小口止	○	×	m			横帯コンクリート	m			巻止コンクリート	m			型枠	m <sup>2</sup>			裏込材	m <sup>2</sup>			目地材	m <sup>2</sup>			基礎材	m <sup>2</sup>				
区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																		
現場打小口止コンクリート	○	×	○	m																																																																																																				
プレキャスト小口止ブロック			×	取																																																																																																				
プレキャスト小口止ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
現場打横帯(隔壁)コンクリート			○	m																																																																																																				
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック			×	取																																																																																																				
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
プレキャスト巻止ブロック			×	m																																																																																																				
プレキャスト巻止ブロック(材料費)			×	取																																																																																																				
裏込材			×	m <sup>2</sup>																																																																																																				
目地材			×	m <sup>2</sup>																																																																																																				
基礎材	×	m <sup>2</sup>																																																																																																						
区分	規格	構造	単位	数量	備考																																																																																																			
小口止	○	×	m																																																																																																					
横帯コンクリート			m																																																																																																					
巻止コンクリート			m																																																																																																					
型枠			m <sup>2</sup>																																																																																																					
裏込材			m <sup>2</sup>																																																																																																					
目地材			m <sup>2</sup>																																																																																																					
基礎材			m <sup>2</sup>																																																																																																					



# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考
河川・砂防編  1章 護岸・根固工  1.6 コンクリートブロック積(張)工	河川・砂防-17    河川・砂防-20	<p>(2) 規格区分                      コンクリートブロック積、コンクリートブロック張及び緑化ブロック積、<u>プレキャスト小口止ブロック</u>、<u>プレキャスト横帯(隔壁)ブロック</u>、<u>プレキャスト巻止ブロック</u>は、ブロックの種類、質量、形状及び大きさごとに区分して算出する。  <u>現場打小口止コンクリート</u>、<u>現場打横帯(隔壁)コンクリート</u>及び<u>現場打天端</u>コンクリートは、形状及び寸法ごとに区分して算出する。</p> <p>⑤ 連節ブロック張 (<u>鉄筋又は鋼線</u>)</p>  <p>⑥ 連節ブロック張 (連結金具)</p>  <p>(注) 各ブロック積(張)工の参考図は、一般的な形状を示すものであり、そのブロックの形状を指定するものではない。</p>	<p>(2) 規格区分                      コンクリートブロック積、コンクリートブロック張及び緑化ブロック積は、ブロックの種類、質量、形状及び大きさごとに区分して算出する。                      小口止、横帯コンクリート及び巻止コンクリートは、形状及び寸法ごとに区分して算出する。</p> <p>⑤ 連節ブロック張</p> 	他基準と整合

# 土木工事数量算出要領 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	改定	現行	備考																																
資料編 3章 3.3 副産物の 参考重量 について	資料-28	<p>1. 適用</p> <p>この資料は、仮設として用いる土のう袋及び大型土のう袋の参考重量として示すものである。 実際の重量は、使用状況等により変動するため、当初設計においては下記重量×枚数により算出した数量を概数として計上し、マニフェスト等により実数量を確認したうえで、概数の確定による変更を行うこととする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>参考重量(1枚当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう袋</td> <td>48cm×62cm</td> <td>kg</td> <td>0.048</td> </tr> <tr> <td>大型土のう袋</td> <td><del>φ110×108cm (1t用)</del></td> <td>kg</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>耐候性大型土のう袋</td> <td><del>φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)</del></td> <td>kg</td> <td><del>2.4</del></td> </tr> <tr> <td>耐候性大型土のう袋</td> <td><del>φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)</del></td> <td>kg</td> <td><del>2.6</del></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 規格が合致しない場合等、上表によりがたい場合は別途考慮する。 ~~~~~</p>	名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)	土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048	大型土のう袋	<del>φ110×108cm (1t用)</del>	kg	2.0	耐候性大型土のう袋	<del>φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)</del>	kg	<del>2.4</del>	耐候性大型土のう袋	<del>φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)</del>	kg	<del>2.6</del>	<p>1. 適用</p> <p>この資料は、仮設として用いる土のう袋及び大型土のう袋の参考重量として示すものである。 実際の重量は、使用状況等により変動するため、当初設計においては下記重量×枚数により算出した数量を概数として計上し、マニフェスト等により実数量を確認したうえで、概数の確定による変更を行うこととする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>参考重量(1枚当り)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土のう袋</td> <td>48cm×62cm</td> <td>kg</td> <td>0.048</td> </tr> <tr> <td>大型土のう袋</td> <td><del>径110cm×108cm</del></td> <td>kg</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 規格が合致しない場合等、上表によりがたい場合は別途考慮する。 (注2) <del>耐候性大型土のう袋は、上表を適用しない。</del></p>	名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)	土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048	大型土のう袋	<del>径110cm×108cm</del>	kg	2.0	記載の追加
名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)																																	
土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048																																	
大型土のう袋	<del>φ110×108cm (1t用)</del>	kg	2.0																																	
耐候性大型土のう袋	<del>φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)</del>	kg	<del>2.4</del>																																	
耐候性大型土のう袋	<del>φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)</del>	kg	<del>2.6</del>																																	
名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)																																	
土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048																																	
大型土のう袋	<del>径110cm×108cm</del>	kg	2.0																																	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
土工	掘削工	掘削	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		掘削(砂防)	土質 施工数量 障害の有無 火薬使用	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		河床等掘削		m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		掘削(光ケーブル配管)	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		整地	作業区分	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		押土(ルーズ)	土質	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		土砂等運搬	土質	m3	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m3	10	
土工		凍土除去		m3	10	
土工	掘削工(ICT)	掘削(ICT)	土質 施工方法 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 障害の有無 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		河床等掘削(ICT)		m3	100	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工	(路体・路床)盛土工	路体(築堤)盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		路床盛土	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		整地	作業区分	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		押土(ルーズ)	土質	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		土砂等運搬	土質	m3	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m3	10	
土工		土材料		m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		凍土除去		m3	10	
土工	(路体・路床)盛土工(ICT)	路体(築堤)盛土(ICT)	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		路床盛土(ICT)	施工幅員	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工	法面整形工	法面整形	現場制約の有無 (盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m2	10	
土工	法面整形工(ICT)	法面整形(ICT)	(盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m2	10	
土工		路面工内法面整形		m2	10	
土工	盛土補強工	安定シート・ネット	シート種類	m2	1	
土工		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m2	1	
土工	残土処理工	整地	作業区分	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		土砂等運搬	土質	m3	10	
土工		残土等処分		m3	10	
土工	作業土工	床掘り	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		埋戻し	土質区分 土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3、岩類は10m3
土工		床掘り(ICT)	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工		床掘り(掘削)	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3、岩類は10m3
土工		基面整正		(m2)	(100)	ただし1,000m2未満の場合は10m2
土工		掘削補助機械搬入搬出		(回)	(1)	
土工		転石破砕		(m3)	(1)	
土工		積込(ルーズ)	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		人力積込	ベルトコンベアの使用	(m3)	(1)	
土工		人力運搬		(m3)	(1)	
土工		押土(ルーズ)	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		整地	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工		土砂等運搬	土質	(m3)	(10)	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
土工		土材料	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満の場合は10m3
土工	作業土工(ICT)	床掘(ICT)	土質	(m3)	(100)	ただし1,000m3未満及び岩の場合は10m3
土工	堤防天端工	天端敷砂利	碎石規格 敷厚	m2	10	
共通の工種	矢板工	鋼矢板	鋼矢板型式 鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚	1	
共通の工種		可とう鋼矢板	可とう種別 鋼矢板型式 鋼矢板長さ	枚	1	
共通の工種		軽量鋼矢板	軽量鋼矢板型式 軽量鋼矢板平均長さ 矢板根入長	枚	1	
共通の工種		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板 型式 広幅鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚	1	
共通の工種		タイロッド	タイロッド材質 タイロッド径	組	1	
共通の工種		腹起し	溝形鋼規格	t	0.1	
共通の工種		控え版	コンクリート規格 幅 高さ	m	1	
共通の工種		中詰砂	砂規格	m3	10	ただし100m3未満の場合は1m3
共通の工種	法枠工	法枠(現場打、プレキャスト、吹付)	法枠規格 中詰材種類	m2	1	
共通の工種	吹付工	吹付(モルタル、コンクリート)	セメント種類 吹付厚	m2	1	
共通の工種	植生工	腐植酸種子散布		m2	10	
共通の工種		有機材種子散布		m2	10	
共通の工種		種子散布	種子規格 肥料の有無 施工規模	m2	10	
共通の工種		芝(各種)	芝種類 施工規模	m2	10	
共通の工種		客土吹付	吹付厚 工種区分 施工規模	m2	10	
共通の工種		植生基材吹付	吹付厚 工種区分 施工規模	m2	10	
共通の工種		植生マット	工種区分 施工規模	m2	10	
共通の工種		植生シート	工種区分 施工規模	m2	10	
共通の工種		植生筋	工種区分 施工規模	m2	10	
共通の工種		植生穴	削孔数	m2	10	
共通の工種		養生(散水養生)		m2	10	
共通の工種		植生土のう積		m2	10	
共通の工種		丸太柵		m	1	
共通の工種		播種工		m2	10	
共通の工種		段柵工		m2	10	
共通の工種		耳芝		m	1	
共通の工種		天芝		m	1	
共通の工種		積芝		m2	1	
共通の工種		埋枝		本	1	
共通の工種	法覆基材工	すき取り法覆基材		m2	10	
共通の工種	かご工	じゃかご・ふとんかご・かご枠 特殊かご、二重ふとんかご	幅 高さ (じゃかご)径 (かご)種別 (かご)規格 詰石種類 詰石規格	m	1	
共通の工種		止杭	止杭規格	本	1	
共通の工種		かごマット(スロープ型)	かご厚さ かご本体材質 詰石種類 詰石規格	m2	1	
共通の工種		かごマット(多段積型)	かご本体材質 詰石種類 詰石規格	m2	1	
共通の工種	補強土壁工	補強土壁基礎	コンクリート規格	m	1	
共通の工種		帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁	土質	m2	1	
共通の工種		補強盛土	壁面材の種類	m2	1	
共通の工種	軽量盛土工	軽量盛土		m3	1	
共通の工種		コンクリート床版	コンクリート規格 厚さ	m2	1	
共通の工種		基礎コンクリート	コンクリート規格	m	1	
共通の工種		壁体工	支柱仕様・規格 壁面材仕様・規格	m2	1	
共通の工種		裏込砕石	碎石規格	m3	1	
共通の工種	吸出し防止工	吸出し防止材	材質 種類 厚さ	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
共通の工種	泥水処理工	泥水処理		m3	10	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
共通の工種	仮水路工	フィルター材敷設	管種別 管径 フィルター材の種類	m3	1	
共通の工種	場所打擁壁工	処分費		m3	1	
共通の工種	仮橋・仮棧橋工	積込(コンクリート殻)		m3	1	
共通の工種	骨材再生工	骨材再生	投入殻寸法	m3	1	
共通の工種	土留・仮締切工	ボーリングマシン移設(アンカー)		回	1	
共通の工種	土留・仮締切工	アンカー工材料費	アンカー工材数量	式	1	
共通の工種	土留・仮締切工	削孔(アンカー)	削孔長 方式 呼び径 土質区分	m	1	
共通の工種	土留・仮締切工	グラウト注入(アンカー)	注入材規格 圧縮強度	m3	1	
共通の工種	アンカー工(プレキャストコンクリート板)	PCコンクリート板据付	フレームタイプ	枚	1	
共通の工種		ジョイント処理		箇所	1	
基礎工	既製杭工	既製コンクリート杭	杭種別 杭径 杭長 杭打込長(掘削長)	本	1	ただし1本当りの場合は1m
基礎工		鋼管杭	鋼管径(杭径) 鋼管長さ(杭長)	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工		H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	本	1	ただし1本当りの場合は0.5m
基礎工		掘削土処理	土質	m3	10	
基礎工	場所打杭工	場所打杭	杭径 杭長(設計長)	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工		掘削土処理	土質	m3	10	
基礎工	合成杭工	合成杭	杭種別 杭径 杭長	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工		掘削土処理	土質	m3	10	
基礎工	ニューマチックケーソン基礎工	ニューマチックケーソン設備		式	1	
基礎工		刃口金物据付		基	1	
基礎工		沈下掘削		m3	10	
基礎工		沈下促進	水荷重形式 載荷材料形式 (コンクリートブロック)	t	0.1	
基礎工	ケーソン本体コンクリート	ニューマチックケーソン設備	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		底スラブコンクリート	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		中埋コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		フローパイプバルブ調整		基	1	
基礎工		中詰充填	中詰材規格	m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
基礎工		砂セントル	材料規格	m3	10	ただし100m3未満の場合は1m3
基礎工		天端コンクリート用型枠・支保		(m2)	(10)	
基礎工		足場材設置・撤去		式	1	
基礎工		止水壁取壊し	施工方法	m3	1	
基礎工	深礎工・シャフト工	巻立コンクリート	敷厚 構造物種別 コンクリート規格	m2	1	
基礎工		掘削土留	杭径 杭長	本	1	
基礎工		グラウト注入	注入材規格 圧縮強度	m3	1	
基礎工	鋼管井筒基礎工	鋼管矢板	鋼管材質 鋼管径 鋼管長さ 打込工法	本	1	
基礎工		井筒内掘削		m3	10	
基礎工		継手処理		本	1	
基礎工		鋼管内掘削		m3	10	
基礎工		中詰コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		敷砂	敷砂規格	m3	10	ただし100m3未満の場合は1m3
基礎工		底版コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		杭切断	鋼管杭径	本	1	
基礎工		鋼管矢板支保	支保型式	(t)	(0.1)	
基礎工		間詰コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
基礎工		間詰コンクリート撤去	構造物区分 工法 区分施工規模	m3	1	
基礎工		頂版結合(プレートブラケット)		t	0.1	
基礎工		頂版結合(鉄筋スタッド)		段	1	
基礎工		詰杭		m	1	
石・ブロック積(張)	石・ブロック積(張)工	石積(張)・コンクリートブロック基礎	コンクリート規格 底幅 高さ	m	1	
石・ブロック積(張)		各種石・ブロック積(張)	ブロック規格 ブロック質量	m2	1	
石・ブロック積(張)		目地板	目地板の種類 目地板厚さ	m2	1	
石・ブロック積(張)		ブロック植栽	樹木名	本	1	
石・ブロック積(張)		天端コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
石・ブロック積(張)		基礎砕石(基礎材)	基礎材規格(砕石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
石・ブロック積(張)		現場打小口止コンクリート	コンクリート規格	m3	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
石・ブロック積(張)		プレキャスト小口止ブロック	幅高さ	m	0.1	
石・ブロック積(張)		現場打横帯(隔壁)コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
石・ブロック積(張)		プレキャスト横帯(隔壁)ブロック	幅高さ	m	0.1	
石・ブロック積(張)		プレキャスト巻止ブロック	幅高さ	m	0.1	
石・ブロック積(張)		養生費	養生工の種類	m3	1	
舗装工	舗装準備工	不陸整正	補足材有無 補足材種類・規格 補足材整正厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		調整コンクリート	コンクリート規格 敷厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工	舗装準備工(ICT)	不陸整正(ICT)	補足材有無 補足材種類・規格 補足材整正厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工	橋面防水工	橋面防水	防水工種類	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工	舗装工	凍上抑制層(車道・路肩部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		凍上抑制層(歩道部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		下層路盤(歩道部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		上層路盤(歩道部)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		装甲路肩路盤	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		フィルター層	材料種類 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		基層(車道・路肩部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		基層(歩道部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		中間層(車道・路肩部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		中間層(歩道部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		表層(車道・路肩部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		表層(歩道部)	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		排水性舗装・表層(車道・路肩部)		m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		セメントミルク浸透	施工厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		アスファルト中間層	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		コンクリート舗装	コンクリート規格 舗装厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		転圧コンクリート舗装	コンクリート規格 舗装厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		連続鉄筋コンクリート舗装	コンクリート規格 舗装厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		縦目地	目地材種類・厚さ	m	1	
舗装工		横目地	目地形式	m	1	
舗装工		目地切り・清掃		m	1	
舗装工		薄層カラー舗装	舗装色 規格・使用	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工	舗装工(ICT)	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		インターロッキングブロック舗装	ブロック規格 敷材種類 敷材厚 施工規模	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
舗装工		特殊ブロック舗装	作業区分 ブロック規格	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2



[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
舗装工		保護路肩舗装	材料種類 材料規格 舗装厚	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
舗装工		保護路肩防草シート	材料規格	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
舗装工		保護路肩粗粒材	材料規格 厚さ	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
舗装工	踏掛版工	踏掛版	コンクリート規格 鉄筋材料規格・径	m3	1	
舗装工	区画線工	区画線	施工方法区分 規格・仕様区分 厚さ 排水性舗装用の有無	m	10	ただし100m未満の場合 は1m
舗装工		区画線消去	施工方法区分	m	1	
地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	混合深さ 固化材100m2あたり使用量 固化剤の種類	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
地盤改良工	自走式土質改良工	土質改良	改良土質 固化材1m3あたり使用量 固化剤の種類	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
地盤改良工	表層安定処理	サンドマット	砂材料費の有無	m3	10	
地盤改良工		安定シート・ネット	シート種類	m2	10	
地盤改良工		表層混合処理		m2	10	
地盤改良工		置換	置換材料 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
地盤改良工	置換工	置換	置換材料 施工数量	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
地盤改良工	サンドマット工	サンドマット	砂材料費の有無	m3	10	
地盤改良工	パイルネット工	既製コンクリート杭	杭種別 杭径 杭長 杭打込長(掘削長)	本	1	
地盤改良工		木杭	杭材質 杭長 杭末口	本	1	
地盤改良工		連結鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	0.1	ただし1t未満の場合は 0.01t
地盤改良工		安定シート	シート種類	m2	10	
地盤改良工	パーチカルドレーン工	サンドドレーン	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1	
地盤改良工		PVD(プレファブリケ ィッドパーチカルドレーン)	材料規格 長さ(打設長)	本	1	
地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションパイル	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1	
地盤改良工	固結工	粉体噴射攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1	
地盤改良工		粉体噴射攪拌(先掘・移設・軸間 変更)	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	式	1	
地盤改良工		高圧噴射攪拌	工法 注入材種類 長さ(注入長) 長さ(土被長)	本	1	
地盤改良工		スラリー攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1	
地盤改良工		中層混合処理	改良深度 施工規模	m3	1	
地盤改良工		薬液注入	注入材料	本	1	
地盤改良工	表層安定処理工	安定処理(ICT)	混合深さ 固化材100m2あたり使用量 固化剤の種類	m2	1	
地盤改良工	固結工	スラリー攪拌(ICT)	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1	
地盤改良工		中層混合処理(ICT)	改良深度 施工規模	m3	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	構造物区分 工法区分 施工規模	m3	1	
構造物撤去工		舗装版切断	舗装版種別 舗装厚	m	10	ただし100m未満の場合 は1m
構造物撤去工		舗装版破砕	舗装版種別	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
構造物撤去工		石積取壊し	形状	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
構造物撤去工		コンクリートはつり	平均はつり厚	m2	1	ただし10m2未満の場合 は0.1m2
構造物撤去工		吹付法面取壊し	集積積込の有無 工法区分	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
構造物撤去工		鋼材切断	鋼材規格(種類他)	箇所	1	
構造物撤去工		鋼材切断	鋼材規格(種類他)	m	1	
構造物撤去工		鋼矢板引抜	鋼矢板型式 引抜長	枚	1	
構造物撤去工		H鋼杭引抜	H鋼形式 引抜長	本	1	
構造物撤去工		広幅鋼矢板引抜き	鋼矢板型式 引抜長	枚	1	
構造物撤去工		コンクリートブロック撤去		m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
構造物撤去工		覆工板設置・撤去		m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
構造物撤去工		根固めブロック撤去	ブロック規格	個	1	
構造物撤去工		殻運搬	殻種別	m3	1	
構造物撤去工		殻運搬	殻種別	t	0.1	プラスチック殻等
構造物撤去工		殻処分	殻種別	m3	1	
構造物撤去工		殻処分	殻種別	t	0.1	プラスチック殻等
構造物撤去工		現場発生産運搬	発生材種類	t	0.1	
構造物撤去工		コンクリート削孔		孔	1	
構造物撤去工	道路施設撤去工	側溝・街渠撤去	作業区分	m	1	
構造物撤去工		集水柵・マンホール撤去	製品質量(kg/基)	基	1	
構造物撤去工		蓋版撤去		枚	1	
構造物撤去工		防護・防止柵撤去		m	1	
構造物撤去工		視線誘導標撤去	視線誘導標規格 施工区分 施工規模	本	1	
構造物撤去工		境界杭撤去	施工規模	本	1	
構造物撤去工		道路鉄撤去	施工区分 施工規模	個	1	
構造物撤去工		車線分離標撤去	施工区分 施工規模	本	1	
構造物撤去工		境界鉄撤去	施工規模	枚	1	
構造物撤去工		横断歩道橋側板(裾隠・目隠)撤去	取外し部材規格	m2	1	
構造物撤去工		遮光フェンス撤去		m	1	
構造物撤去工		標識撤去		基	1	
構造物撤去工		境界ブロック撤去	再利用区分	m	1	
構造物撤去工		ケーブル配管撤去	管径 規格	m	1	
構造物撤去工		照明柱撤去		基	1	
構造物撤去工	かご撤去工	じゃかご撤去	じゃかご径	m	1	
構造物撤去工		ふとんかご撤去	ふとんかご種別 ふとんかご規格	m	1	
構造物撤去工	落石雪害防止撤去工	落石防護柵撤去		m	1	
構造物撤去工		落石防止網(繊維網)撤去		m2	1	
構造物撤去工		コンクリート平板ブロック撤去	ブロック規格	m2	1	
構造物撤去工		ノンスリップ撤去		m	1	
構造物撤去工	冬季安全施設撤去工	吹溜式防雪柵撤去	柵高	m	1	
構造物撤去工		吹払式防雪柵撤去	柵高	m	1	
構造物撤去工		スノーボール撤去	スノーボール規格	本	1	
構造物撤去工	旧橋撤去工	鋼製高欄撤去		m	1	
構造物撤去工		舗装版・床版破碎及び撤去	施工内容	m3	1	
構造物撤去工		桁材撤去	施工内容	t	1	
構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート表面処理	施工規模 上向作業の有無	m2	1	
仮設工	仮設工	覆工板・敷鉄板	鋼材規格 作業区分	(m2)	(1)	
仮設工		覆工板受桁	鋼材規格 作業区分	(t)	(1)	
仮設工		鋼矢板	鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]	(枚)	(1)	
仮設工		H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	(本)	(1)	
仮設工		アンカー	アンカーボルト規格	(本)	(1)	
仮設工		タイロッド・腹起し	タイロッド材質 タイロッド径	(t)	(0.1)	数量契約の場合は0.1t
仮設工		切梁・腹起し		(t)	(0.1)	数量契約の場合は0.1t
仮設工		横矢板	横矢板材質 横矢板厚さ	(m2)	(1)	
仮設工	水替工	ポンプ排水	排水量 排水方法	(日)	(1)	
仮設工		ポンプ設置・撤去		(箇所)	(1)	
仮設工		水替とい		(m)	(1)	
仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	ポンプ組数	(日)	(1)	
仮設工		ティープウエル	径 深さ	(日)	(1)	
仮設工	連続地中壁工	プラント設置撤去		式	1	
仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	作業区分	(m)	(1)	
仮設工		濁水処理設備		(箇所)	(1)	
仮設工	波除工	異形ブロック	コンクリート規格 セメント種別 公称質量	(個)	(1)	
仮設工	防護施設工	発破防護柵	作業区分	(m2)	(10)	
仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	(個)	(1)	
仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	柵高 作業区分	(m)	(1)	
仮設工	防護施設工	仮囲い	作業区分 基礎形式 高さ	(m)	(1)	
仮設工	防護施設工	仮設落石防護柵	柵高	(m)	(1)	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
仮設工		急傾斜防止工事用防護柵	防護柵形式	(m)	(1)	
仮設工	土のう工	大型土のう		(袋)	(1)	
仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	安全ネットの有無	(掛m2)	(10)	
仮設工	重機用足場工	重機用仮設運搬路	形式区分	(m)	(1)	
仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	梁規格	(箇所)	(1)	
仮設工		アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理	アンカー鋼材数量	(本)	(1)	
仮設工		軽量鋼矢板(電線共同溝)	矢板型式	式	1	
仮設工		溝掘り		(m3)	(1)	
仮設工		泥土処理	土質	(m3)	(1)	
仮設工	砂防仮締切工	土砂締切		(m3)	(1)	
仮設工		大型土のう締切		(m3)	(1)	
仮設工		コンクリート締切		(m3)	(1)	
仮設工	仮橋・仮棧橋工	橋脚		(t)	(1)	
仮設工		仮設高欄	形式区分 作業区分	(m)	(1)	
仮設工		仮橋上部	形式区分 作業区分	(t)	(0.1)	数量契約の場合は0.1t
仮設工		仮橋コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 長さ 高さ	(箇所)	(1)	
仮設工		高力ボルト	ボルト規格	(kg)	(1)	
仮設工		防眩材	材料規格	(基)	(1)	
仮設工	掘削工	転石破砕	火薬使用の有無	(m3)	(1)	
仮設工	作業土工	掘削補助機械搬入搬出		(回)	(1)	
仮設工		人力運搬	換算距離	(m3)	(1)	
仮設工	作業ヤード整備工	ヤード造成		(m2)	(1)	
仮設工	工事用道路工	敷砂利	材料規格 厚さ	(m2)	(1)	
仮設工		敷鉄板	鋼材規格・作業区分	m2	1	
仮設工		工事用道路補修		式	1	
仮設工		仮設舗装		(m2)	(1)	
仮設工		仮設アスカーブ		(m)	(1)	
仮設工		土のう積		(m2)	(1)	
仮設工		重機用仮設運搬路製作		(m)	(1)	
仮設工	法面吹付工	仮設用モルタル吹付	セメント種類 ラス張施工規模 法面清掃工の有無	(m2)	(1)	
仮設工	仮水路工	暗渠排水管	作業区分 管種別 管径	(m)	(1)	
仮設工		コルゲートパイプ	規格 径	(m)	(1)	
仮設工		素掘側溝		(m)	(1)	
仮設工	防塵対策工	散水		式	1	
仮設工		タイヤ洗浄装置	装置規格	式	1	
仮設工		路面清掃		式	1	
仮設工	電力設備工	配電設備		(m)	(1)	
仮設工		受電設備		(式)	(1)	
仮設工		電動機設備		(式)	(1)	
仮設工		照明設備		(式)	(1)	
仮設工	トンネル仮設備工	トンネル用水設備		(箇所)	(1)	
仮設工		トンネル照明設備		式	1	
仮設工		トンネル排水設備		式	1	
仮設工		トンネル換気設備		式	1	
仮設工		トンネル送気設備		式	1	
仮設工		トンネル工事用連絡設備		式	1	
仮設工		トンネル軌条設備		式	1	
仮設工		ターンテーブル設備		式	1	
仮設工		トンネル用濁水処理設備		式	1	
仮設工		防音設備		式	1	
仮設工		トンネル仮設備保守		(箇月)	(0.1)	
仮設工		トンネル充電設備		(日)	(1)	
仮設工		吹付フロント組立解体		(基)	(1)	
仮設工		スライドセントル組立解体		(基)	(1)	
仮設工		防水作業台車組立解体		(基)	(1)	
仮設工	コンクリート製造設備工	コンクリートプラント設備		(基)	(1)	
仮設工		ケーブルクレーン設備		(対)	(1)	
仮設工	除雪工	現場内除雪(機械)	貸与区分	(時間)	(1)	
仮設工		現場内除雪(人力)		(人日)	(1)	
仮設工		仮囲い屋根部		(m3)	(1)	
仮設工		人力除雪		(m3)	(10)	
仮設工		工事用道路除雪		(km)	(0.1)	
仮設工		作業現場除雪		(m2)	(10)	
仮設工		現場内搬出除雪		(m3)	(10)	
仮設工		防滑剤散布	種類	(t)	(1)	
仮設工	結氷対策工	割氷工		(m2)	(10)	
仮設工	雪寒施設工	雪寒仮囲い	仮囲い規格 設置・撤去	(m2)	(1)	
仮設工		ウェザーシールド		(基)	(1)	
仮設工		防寒養生		(m3)	(1)	
仮設工		小規模構造物防寒養生		(m3)	(1)	
仮設工	仮設階段工	仮設昇降用階段		(m)	(1)	
仮設工	交通管理工	交通誘導警備員A		(人日)	(1)	
仮設工		交通誘導警備員B		(人日)	(1)	
雑工	流木除去工	流木除去		(m3)	(1)	
共通仮設(積上分)	運搬費	重建設機械分解組立輸送費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		重建設機械分解組立費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		重建設機械分解費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		重建設機械組立費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		重建設機械運搬費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		仮設材運搬費		(t)	(0.1)	
共通仮設(積上分)		浚渫船等回航費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		作業船等回航費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		作業船等えい航費		(回)	(1)	
共通仮設(積上分)		交通船		(日)	(1)	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
共通仮設(積上分)	準備費	試験掘り費		(箇所)	(1)	
共通仮設(積上分)		立木切倒し・枝払い切揃え、立木集積		(本)	(1)	
共通仮設(積上分)		立木積込み		(t)	(0.1)	
共通仮設(積上分)		すき取り土選別		(m2)	(10)	
共通仮設(積上分)		立木・伐開物・抜根物運搬費		(t)	(0.1)	
共通仮設(積上分)		立木・伐開物・抜根物処分費		(m3)	(1)	
共通仮設(積上分)		立木・伐開物・抜根物処分費		(t)	(0.1)	
共通仮設(積上分)		着工時除雪費		(km)	(0.1)	
共通仮設(積上分)		着工時除雪費		(m2)	(10)	
共通仮設(積上分)		着工時除雪費		(m3)	(10)	
共通仮設(積上分)		着工時排雪除雪費		(m3)	(10)	
共通仮設(積上分)		緊船費		(日)	(1)	
共通仮設(積上分)		退避		(日)	(1)	
共通仮設(積上分)		路面ヒーター		(時間)	(1)	
共通仮設(積上分)	事業損失防止施設費	家屋調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		騒音調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		振動調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		沈下観測費		式	1	
共通仮設(積上分)		傾斜観測費		式	1	
共通仮設(積上分)		水質調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		地下水観測費		式	1	
共通仮設(積上分)		事業損失防止施設費		式	1	
共通仮設(積上分)	安全費	呼吸用保護具等費用		式	1	
共通仮設(積上分)		機械誘導員		(人日)	(1)	
共通仮設(積上分)		安全管理員		(人日)	(1)	
共通仮設(積上分)		高圧線防護施設費		式	1	
共通仮設(積上分)		救急設備費		(台)	(1)	
共通仮設(積上分)		保安管理費		式	1	
共通仮設(積上分)		雨量計		式	1	
共通仮設(積上分)		安全灯		(個)	(1)	
共通仮設(積上分)		安全設備費		式	1	
共通仮設(積上分)		公安委員会指定委任信号機		(基)	(1)	
共通仮設(積上分)	役務費	借地料		式	1	
共通仮設(積上分)		電力基本料金		式	1	
共通仮設(積上分)		電力設備工事負担金		式	1	
共通仮設(積上分)		用水基本料金		式	1	
共通仮設(積上分)	技術管理費	土質試験費		式	1	
共通仮設(積上分)		地質試験費		式	1	
共通仮設(積上分)		アンカー試験費		式	1	
共通仮設(積上分)		軟弱地盤調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		計測B		式	1	
共通仮設(積上分)		管渠内TV調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		施工調査費		式	1	
共通仮設(積上分)		施工図書作成費		式	1	
共通仮設(積上分)		調査ホーリング		(m)	(1)	
共通仮設(積上分)		足場仮設		(箇所)	(1)	
共通仮設(積上分)		ホーリング資料整理		(工事)	(1)	
共通仮設(積上分)		柔構造種門動態観測		式	1	
共通仮設(積上分)		保守管理(ICT)		式	1	
共通仮設(積上分)		システム初期費(ICT)		式	1	
共通仮設(積上分)		3次元起工測量・3次元設計 データ作成費用(ICT)		式	1	
共通仮設(積上分)	営繕費	監督員詰所		式	1	
共通仮設(積上分)		火薬庫類		式	1	
共通仮設(積上分)		快適トイレ		基・月	1	
共通仮設(積上分)		現場環境改善費		式	1	
共通仮設(積上分)		充てん工法		式	1	
共通仮設(積上分)		1 構造物当り補修延べ延長 材料種類		構造物	1	
共通仮設(積上分)		低圧注入工法		構造物	1	
共通仮設(積上分)		1 構造物当り補修延べ延長 材料種類		構造物	1	
共通仮設(積上分)		左官工法		構造物	1	
共通仮設(積上分)		1 構造物当り補修延べ延長 材料種類 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無		構造物	1	
共通仮設(積上分)		基礎材	基礎材規格(碎石の場合等) 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
共通仮設(積上分)		均しコンクリート	コンクリート規格 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
共通仮設(積上分)		コンクリート	コンクリート規格 養生費 コンクリート夜間割増の有無	m3	1	
共通仮設(積上分)		二次コンクリート	規格	m3	1	
共通仮設(積上分)		鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	0.01	
共通仮設(積上分)		目地材	目地材種類・厚さ	m2	1	
共通仮設(積上分)		止水板	止水板種類・寸法	m	1	
共通仮設(積上分)		型枠	型枠の種類	(m2)	(10)	ただし100m2未満の場合は1m2
共通仮設(積上分)		足場	安全ネットの有無	(掛m2)	(10)	
共通仮設(積上分)		支保	支保耐力〇〇以上	(空m3)	(10)	
共通仮設(積上分)		植石張り	構造区分 石材径 胴込・裏込コンクリート規格 裏込材規格	m2	1	
共通仮設(積上分)		水抜パイプ	管径・管種類 フィルターの有無	m	1	
共通仮設(積上分)		スリッパバー	鉄筋材料規格・径	箇所	1	
共通仮設(積上分)		スリッパバー	鉄筋材料規格・径	組	1	
共通仮設(積上分)		防水モルタル	セメント種類 混合比	m3	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
コンクリート構造物		アンカーボルト	アンカーボルト規格	本	1	
コンクリート構造物		有孔管	作業区分 工法区分 施工規模	m	1	
コンクリート構造物		可撓継手	内幅 内高	箇所	1	
コンクリート構造物	橋台躯体工(構造物単位)	逆T式橋台	高さ区分 打設量区分 コンクリート規格 化粧型枠の有無	m3	1	
コンクリート構造物		T型橋脚	高さ区分 打設量区分 コンクリート規格 化粧型枠の有無	m3	1	
コンクリート構造物		壁式橋脚	高さ区分 打設量区分 コンクリート規格 化粧型枠の有無	m3	1	
コンクリート構造物	場所打擁壁工(構造物単位)	逆T型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1	
コンクリート構造物		もたれ式擁壁	本体コンクリート規格	m3	1	
コンクリート構造物		L型擁壁	本体コンクリート規格	m3	1	
コンクリート構造物		重力式擁壁	擁壁平均高さ 本体コンクリート規格	m3	1	
コンクリート構造物		小型擁壁	擁壁平均高さ 本体コンクリート規格	m3	1	
コンクリート構造物	羽口工	連節ブロック張(コンクリート)		m3	1	
コンクリート構造物	暗渠工	プレキャストボックス	内幅 内高	m	1	
コンクリート構造物		排水材	種類 寸法	m	1	
構造物	帯状構造物(小規模)工		幅 高さ コンクリート規格	m	1	各種ブロック(既製品共)H=2.0m未満の擁壁類
構造物	帯状構造物(大規模)工		コンクリート規格 幅 高さ	m	0.1	H=2.0m以上の擁壁類
構造物	排水構造物工		管規格	m	1	ただし径1m以上の管渠類の場合は0.1m
構造物		現場打水路	内幅(複単不使用の場合) 内高(複単不使用の場合) コンクリート規格	m	1	
構造物		縦排水・小段排水	U型側溝の種類 U型側溝の規格 内幅(各種の場合) 内高(各種の場合) 作業区分 コンクリート打設の有無 コンクリート規格 目地板の有無 目地板の種類 目地板の種類(各種の場合)	m	1	
構造物	場所打函渠工(構造物単位)	函渠	内幅 内高 コンクリート規格	m3	1	
構造物	排水性舗装用路肩排水工	透水性樹脂コンクリート		m3	1	
構造物	橋脚架設工	橋脚架設		t	0.1	
工場製作工	製作工	製作加工	鋼材規格	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
工場製作工		ボルト・ナット	ボルト・ナット種類	組	1	
工場製作工		スタッドジベル	径・長さ	本	1	
工場製作工		バックアップ	材質	m3	0.1	
工場製作工		充填シール	材質	m3	0.1	
工場製作工		アンカーボルト	材質・径・長さ アンカー材規格	組	1	
工場製作工	鋳造費	金属支承	支承規格	個	1	
工場製作工		大型ゴム支承	支承規格	個	1	
工場製作工		排水樹	樹規格	個	1	
工場製作工		橋名板	材質	枚	1	
工場製作工		橋歴板		枚	1	
工場製作工	工場塗装工	前処理	材料種類	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
工場製作工		塗装(下・中・上塗)	塗装種別 塗装箇所 塗装回数	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
工場製作工		メッキ		t	0.1	
工場製品輸送工	輸送工	輸送		t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
工場製品輸送工		現場取卸(PC桁)		本	1	
工場製品輸送工		工場取卸(鋼桁・鋼管桁)		t	0.1	
工場製品輸送工		小運搬		t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
付属施設	縁石工	歩車道境界ブロック	ブロック規格	m	1	
付属施設		地先境界ブロック	ブロック規格	m	1	
付属施設		植樹ブロック	ブロック規格	m	1	
付属施設	緑化ブロック工	養生費	養生工の種類	m2	1	
付属施設		アスカープ	材料種類 断面積	m	10	
付属施設	集水樹・街渠樹・マンホール工	集水樹	集水樹種類 現場打材種類 コンクリート規格 基礎コンクリート規格	箇所	1	(プレキャスト含む)
付属施設		街渠樹	集水樹・街渠樹種類 基礎コンクリート規格 法面作業補正	箇所	1	(プレキャスト含む)

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
付属施設		マンホール	マンホール規格 コンクリート規格 蓋種類	箇所	1	
付属施設		蓋	蓋種類	枚	1	
付属施設	路側防護柵工	ガードレール	ガードレール規格 施工規模 曲線部補正の有無	m	1	
付属施設		ガードパイプ	ガードパイプ規格 施工規模 曲線部補正の有無	m	1	
付属施設		ガードケーブル	ガードケーブル規格 建込条件	m	1	
付属施設		基礎ブロック(立入防止柵)	寸法 作業区分	個	1	
付属施設		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	柵高 作業区分	m	1	
付属施設		転落(横断)防止柵	柵高 作業区分	m	1	
付属施設		車止めポスト	車止めポスト径 車止めポスト長さ	本	1	
付属施設	ワイヤロープ防護柵工	端末基礎・端末金具	種別 設置形式	箇所	1	
付属施設		支柱	種別 設置形式 設置箇所	本	1	
付属施設		ワイヤロープ	種別	m	1	
付属施設		ターンバックル	種別 設置箇所	箇所	1	
付属施設		橋梁部基礎・支柱	種別	箇所	1	
付属施設	階段工	現場打階段	コンクリート規格 砕石規格	m <sup>2</sup>	1	
付属施設		プレキャスト階段	ブロック規格	m <sup>2</sup>	1	
付属施設	境界工	境界杭	境界杭規格 施工規模	本	1	
付属施設		境界鉄	境界鉄規格 施工規模	枚	1	
付属施設		境界(法留)壁	本体コンクリート規格	m	1	
付属施設	落石防護柵工	ロープ・金網	柵高 規格・仕様厚 メッキの有無	m	1	
付属施設		支柱	支柱形式 施工区分 規格・仕様	本	1	
付属施設		ステーロープ		本	1	
付属施設	防雪柵工	防雪柵	防雪防護柵種類 柵高	m	1	
付属施設	雪崩予防柵工	雪崩予防柵基礎	幅 高さ 長さ コンクリート規格	基	1	
付属施設		雪崩予防柵	柵高 柵長 柵種類	基	1	
付属施設		雪崩予防柵アンカー	アンカー規格	本	1	
付属施設	遮音壁基礎工	支柱アンカーボルト	アンカー形式 アンカー支柱間隔 アンカー材料規格	本	1	
付属施設	遮音壁本体工	遮音壁	支柱タイプ・支柱間隔 しゃ音板形式・高さ	m	1	
付属施設		外装板	板規格	m <sup>2</sup>	1	
付属施設	ケーブル配管工	ケーブル配管	管規格 土質区分 管径	m	1	
付属施設		ハンドホール	寸法	箇所	1	
付属施設	道路付属物工	視線誘導標	視線誘導標規格 施工区分 施工規模	本	1	
付属施設		車線分離標	車線分離標規格 施工区分 施工規模	本	1	
付属施設		距離標	作業区分 施工区分	本	1	
付属施設		道路鉄	道路鉄規格 施工区分 施工規模	個	1	
付属施設		アンカーボルト	材質・径・長さ アンカー材規格	本	1	
付属施設	照明工	照明柱基礎	基礎型式	基	1	
付属施設		照明柱	柱規格	基	1	
付属施設	銘板工	銘板	材質 寸法	枚	1	
付属施設		表示板	表示板規格	枚	1	
付属施設	小型標識工	標識柱	柱規格 柱長さ 施工規模	基	1	
付属施設		標識板	標識板規格	枚	1	
付属施設	大型標識工	標識基礎	形式 基礎規格	基	1	
付属施設		片持標識柱	柱型式	基	1	
付属施設		門型標識柱	スパン長 型式	基	1	
付属施設		標識板	標識板規格	枚	1	
付属施設		着雪防止板	板規格	枚	1	
付属施設	道路植栽工	植樹帯盛土	土質	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
付属施設		植樹	樹木規格	本	1	
付属施設		地被類補付	種類	m <sup>2</sup>	1	
付属施設		樹名板	樹名板規格	枚	1	



[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
付属施設	アンカー工	アンカー	アンカーボルト規格	本	1	
付属施設		アンカー(プレキャストコンクリート板)	材質・径・長さ アンカー材規格	本	1	
付属施設		アンカー足場		(空m3)	(10)	
		鉄筋挿入	鉄筋規格 削孔長 現場条件 施工規模	m	1	
付属施設	点検施設工	梯子	寸法	本	1	
付属施設		ステップ	ステップ規格	本	1	
付属施設		蓋	蓋種類	枚	1	
付属施設	グラウトホール工	グラウトホール	径 長さ	組	1	
付属施設	観測施設工	量水標	量水標規格	箇所	1	
付属施設		水位計	水位計規格	箇所	1	
付属施設		流量計	流量計規格	箇所	1	
付属施設	燃料貯油槽工	充填砂	砂種類	m3	10	
付属施設	情報案内施設工	スクリーン	材質 形状	個	1	
付属施設	情報案内施設工	案内板	材質 形状	箇所	1	
河川構造物	土台基礎工	土台		m	1	
河川構造物	笠コンクリート工	笠コンクリート	コンクリート規格 底幅 高さ	m	1	
河川構造物		笠コンクリートブロック	ブロック規格 底幅 高さ	m	1	
河川構造物	護岸付属物工	横帯(隔壁)コンクリート	幅 高さ コンクリート規格	m	0.1	
河川構造物		横帯ブロック	ブロック規格 底幅 高さ	m	1	
河川構造物		小口止	コンクリート規格 幅 高さ	m	0.1	
河川構造物		小口止矢板	鋼矢板材質 鋼矢板型式 鋼矢板長さ	枚	1	
河川構造物		縦帯コンクリート	コンクリート規格 幅 高さ	m	1	
河川構造物		巻止コンクリート	コンクリート規格 幅 高さ	m	1	
河川構造物		平張コンクリート	コンクリート規格 底幅 天端幅 高さ	m2	1	
河川構造物		隔壁コンクリート		m	1	
河川構造物		隔壁ブロック		m	1	
河川構造物	多自然護岸工	木杭	杭材質 杭長 杭末口	本	1	
河川構造物		巨石張(積)	石材径 (練:遮水シートの有無 (練:止水シートの有無 (空:吸出し防止材の有無	m2	1	
河川構造物		巨石据付	石材径	m2	1	
河川構造物		巨石採取		個	1	
河川構造物		巨石運搬		式	1	
河川構造物		雑割石張	空石規格 かご厚さ かご本体材質 詰石種類 詰石規格	m2	1	
共通の工種		かごマット(スロープ型)		m2	1	
共通の工種		かごマット(多段積型)	かご本体材質 詰石種類 詰石規格	m2	1	
河川構造物		ブロックマット	法勾配	m2	1	
河川構造物		杭柵		m	1	
河川構造物		連柴柵		m	1	
河川構造物		粗架法覆		m2	1	
河川構造物		玉石柳枝		m2	1	
河川構造物		粟石粗架		m2	1	
河川構造物		護岸植栽		本	1	
河川構造物	覆土工	覆土		m3	100	ただし1,000m3未満の場合は10m3
河川構造物	間詰工	間詰コンクリート	コンクリート規格	m3	1	
河川構造物	沈床工	沈床	○層建	m2	1	
河川構造物		粗架単床		m2	1	
河川構造物		粗架柵		m	1	
河川構造物	捨石工	捨石	石材規格	m3	1	
河川構造物		表面均し		m2	10	
河川構造物	元付工	元付	コンクリート規格	箇所	1	
河川構造物	牛・枠工	牛		組	1	
河川構造物		枠		組	1	
河川構造物	杭出し水制工	杭出し水制		基	1	
河川構造物	基礎工	現場打基礎	コンクリート規格 底幅 高さ	m	1	
河川構造物		プレキャスト基礎	底幅 高さ プレキャスト材規格(型)	m	1	
河川構造物	基礎工	コンクリート生産・運搬・クレーン打設	コンクリート規格	m3	1	
河川構造物	根固めブロック工	根固めブロック製作	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量)	個	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
河川構造物		根固めブロック据付	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量) ブロック購入の有無	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック仮置	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量)	個	1	
河川構造物		消波根固めブロック運搬	消波根固めブロック運搬 作業区分 積載個数 距離	個	1	
河川構造物		袋詰め玉石	袋材規格 中詰材規格	袋	1	
河川構造物	ブロック床版工	場所打ブロック	ブロック型式 コンクリート規格 鉄筋規格	m2	1	
河川構造物	函渠工	P C 函渠	内幅 内高 函渠質量	m	0.1	
河川構造物		可換継手	内幅 内高	箇所	1	
河川構造物		取替式止水板	止水板種類・寸法	箇所	1	
河川構造物		函渠接続	アンカー種類	箇所	1	
河川構造物	側壁工	裏込石	基礎材規格(碎石の場合) 基礎材規格(栗石の場合) 基礎材規格(発生材流用の場合)	m3	1	
樋門・樋管	樋門・樋管製作工	扉体		門	1	
樋門・樋管		戸当り		門	1	
樋門・樋管		管理橋		m	1	
樋門・樋管		管理階段		m	1	
樋門・樋管		門柱手摺		基	1	
樋門・樋管		片開扉		基	1	
樋門・樋管		中間軸受		門	1	
樋門・樋管		開閉機		台	1	
樋門・樋管		ラック棒		m	1	
樋門・樋管	小形水門工	(据付直接経費)	(式)	(式)	1	
樋門・樋管		(据付機械経費)	(式)	(式)	1	
樋門・樋管		小形水門据付		門	1	
樋門・樋管		管理橋据付		m	1	
樋門・樋管		管理橋橋台		基	1	
樋門・樋管		現場塗装		m2	10	ただし100未満の場合は1m2
樋門・樋管		工場塗装		m2	10	ただし100未満の場合は1m2
樋門・樋管		据付間接費		式	1	
樋門・樋管	輸送工	(小運搬)		t	0.1	
樋門・樋管		輸送		t	0.1	
樋門・樋管	本体工	底部可とう継手		m	1	
樋門・樋管		可とう遮水壁		箇所	1	
樋門・樋管	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積)	遮水シート	材質 種類 寸法	m2	1	
樋門・樋管	羽口工	連節ブロック水中吊落し		m2	1	
樋門・樋管	植生工	被覆シート張	シート規格	m2	1	
砂防	コンクリート・鋼製堰堤本体・副堤工	堤冠コンクリート	セメント種類 コンクリート規格	m3	1	
砂防		水抜暗渠	管径 管種類 管長さ	m	0.1	
砂防		鋼製枠	型式	t	0.1	
砂防		枠内中詰	土質	m3	1	
砂防		足場	安全ネットの有無	(m)	(1)	
砂防		チッピング(岩盤面・打継面)		m2	1	
砂防		チッピング(季節堰堤腹付け面)		m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
砂防		岩盤清掃		m2	1	
砂防		隔壁コンクリート基礎	コンクリート規格 幅 高さ	m3	1	
砂防		均しコンクリート	コンクリート規格 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
砂防		残存型枠	型枠の種類	(m2)	(10)	ただし100m2未満の場合は1m2
砂防		コーキング材		m	1	
砂防	鋼製砂防工	組立・据付工	鋼管フレーム・バットレス	t	0.1	
砂防		本締め工		本	1	
砂防		アンカー工	アンカーボルト規格	本	1	
砂防		現場塗装工(はけ塗り)	塗装種別	m2	1	
砂防	コンクリート側壁工	均しコンクリート	コンクリート規格 敷厚	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
砂防		水抜暗渠	管径 管種類 管長さ	m	0.1	
砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	施工場所 土質区分 呼び径	m	0.1	
砂防		ボーリング洗浄		m	0.1	
砂防		保孔管	保孔管材質・種類 施工場所 ストレナ加工の有無	m	1	
砂防		ボーリング仮設機材		回	1	
砂防	集水井工	集水井掘削	杭径 土留材料	m	1	
砂防		井戸中詰	土質	m3	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
砂防		プレキャスト井筒	ブロック規格	m	1	
砂防		固定基礎コンクリート	タイプ コンクリート規格	m	1	
砂防		底張コンクリート	構造物種別 コンクリート規格	m3	1	
砂防		井戸蓋	蓋形式	枚	1	
砂防	山腹水路工	山腹暗渠	管材質 管径 管長さ	m	1	
砂防		現場打水路	内幅 内高 コンクリート規格	m	1	
砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	粒径処理率 セメント100m3当り使用量 施工幅員	m3	1	
砂防	土留柵工	H型鋼杭		本	1	
砂防		土留横材		m	1	
砂防		杭土処理		m3	10	
砂防		崩土防止横材		m	1	
砂防		崩土防止横材端基礎		箇所	1	
砂防		やぐら基材		回	1	
砂防	ダブルウォール堰堤工	型枠		(m2)	(10)	ただし100m2未満の場合 は1m2
砂防		鋼矢板		枚	1	
砂防		タイロッド		組	1	
砂防		腹起し		t	0.1	
砂防		枠内中詰		m3	1	
砂防		足場		(掛m2)	(10)	
砂防		敷網材		m2	1	
砂防		横クッション材		m2	1	
砂防		縦シール材		m	1	
砂防		基礎コンクリート		m3	1	
砂防		天端コンクリート		m3	1	
砂防		水抜管		m	1	
海岸	海岸コンクリート(根固・消波) ブロック工	海岸コンクリート(根固・消波) ブロック製作	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量)	個	1	
海岸		海岸コンクリート(根固・消波) ブロック据付	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量) ブロック購入の有無	個	1	
海岸	護岸工	裏込(砕)石	砕石規格	m3	1	
海岸		石材	石材規格	m3	1	
海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	コンクリート規格 養生費 コンクリート夜間割増の有無	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
海岸		岩盤基面整正		m2	10	
海岸		岩盤等		m2	10	
海岸		防止材		m2	1	
海岸		H型鋼		本	1	
海岸		ケーシング損料		式	1	
海岸		配管設置撤去		m	1	
海岸		配管損料		式	1	
海岸		スリッパ		本	1	
海岸		路盤紙		m2	10	
海岸		止壁		m	1	
海岸	捨石工	中詰石	石材規格	m3	1	
海岸		捨石	石材規格	m3	1	
海岸		捨石均し	均し区分	m2	10	
海岸		表面均し		m2	10	
海岸	被覆石工	被覆石据付	石材規格	m3	1	
海岸		被覆石均し	均し区分	m2	10	
海岸	被覆ブロック工	被覆ブロック据付	ブロック種類(型式) ブロック種類(実質量) ブロック購入の有無	個	1	
海岸	矢板工	鋼矢板防食	防食規格	m2	1	
海岸	詰杭工	既製コンクリート杭	杭種別 杭径 杭長 杭打込長(掘削長)	本	1	
海岸		コンクリートパネル	パネル規格 ブロック規格	枚	1	
海岸		中詰石	石材規格	m3	1	
海岸		表面均し		m2	10	
海岸	石砕工	コンクリート砕製作	コンクリート規格	個	1	
海岸		コンクリート砕据付	ブロック規格	個	1	
海岸		中詰石	石材規格	m3	1	
海岸		捨石均し	均し区分	m2	10	
海岸	ケーソン・セルラー工	ケーソン等運搬・据付		個	1	
海岸		中詰砂・石	石材規格	m3	1	
海岸		表面均し		m2	10	
海岸	洗堀防止工	洗堀防止		m2	1	
海岸		グラベルマット		m3	1	
海岸		グラベルマット均し		m2	1	
海岸		大型網かご製作		個	1	
海岸		大型網かご据付		個	1	
海岸	陸間工	陸間据付工機械経費		式	1	
海岸		陸間据付直接労務費		式	1	
海岸		角落し		枚	1	
海岸		戸当り		t	0.01	
浚渫工	浚渫船運転工(ポンプ浚渫船)	浚渫船運転	浚渫船区分 貸与区分	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
浚渫工		排砂管(設備)	排砂管径 設置高さ	(本)	(1)	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
浚渫工		浚渫船機械管理費(官船)	貸与船舶種・船級 フロータ長 フロータ径 排砂管径 排砂管本数 フロータ数 ゴムジョイント数	(日)	(1)	
浚渫工		排砂管保守		(日)	(1)	
浚渫工	作業船及び機械運転工(ポンプ浚渫船)	中継ポンプ運転		(台)	(1)	
浚渫工		揚錨船運転		(日)	(1)	
浚渫工		交通船運転		(日)	(1)	
浚渫工		警戒船運転		(日)	(1)	
浚渫工	浚渫船運転工(グラブ浚渫船)	浚渫船運転	浚渫船区分 貸与区分	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
浚渫工		浚渫船等機械管理費	浚渫船規格 汚濁防止枠の有無	(日)	(1)	
浚渫工	作業船及び機械運転工(グラブ浚渫船)	揚錨船運転		(日)	(1)	
浚渫工		交通船運転		(日)	(1)	
浚渫工		土運搬船運転		(日)	(1)	
浚渫工		曳船運転		(日)	(1)	
浚渫工		警戒船運転		(日)	(1)	
浚渫工	バックホウ浚渫船	バックホウ浚渫船運転	浚渫船区分 貸与区分	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
浚渫工		繋船運転		(日)	(1)	
浚渫工		土運搬船運転		(日)	(1)	
浚渫工		浚渫土揚土		(日)	(1)	
浚渫工	配土工	配土		(日)	(1)	
浚渫工	浚渫土処理工	浚渫土処理		m3	10	
浚渫工	バックホウ浚渫船(ICT)	バックホウ浚渫船運転	浚渫船区分	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
鋼橋上部工	地組工	地組		t	0.1	ただし1t未満の場合は 0.01t
鋼橋上部工	床版工	床版架設		m2	1	
鋼橋上部工	架設工	各種設備		式	1	
鋼橋上部工		桁架設	規格 桁種類	t	0.1	ただし1t未満の場合は 0.01t
鋼橋上部工	現場継手工	本締めボルト		本	1	
鋼橋上部工		鋼床板現場溶接		m	1	
鋼橋上部工	支承工	金属支承設置	支承規格	個	1	
鋼橋上部工		大型ゴム支承設置	支承規格	個	1	
鋼橋上部工	伸縮装置工	鋼・ゴム製伸縮装置	伸縮装置規格	m	0.1	
鋼橋上部工		鋼製伸縮装置	伸縮装置規格 工種	t	0.1	
鋼橋上部工		埋設ジョイント	ジョイント規格 工種	m	1	
鋼橋上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	材質規格(寸法等)	箇所	1	
鋼橋上部工	排水装置工	排水枴	枴規格	箇所	1	
鋼橋上部工		排水管	管規格	m	1	
鋼橋上部工	地覆工	場所打地覆	形状寸法	m	1	
鋼橋上部工		プレキャスト地覆	ブロック規格 底幅 高さ	m	1	
鋼橋上部工	橋梁用防護柵工	橋梁用防護柵		m	1	
鋼橋上部工	橋梁用高欄工	橋梁用高欄	材質 作業区分 高欄形式	m	1	
鋼橋上部工	検査路工	検査路		t	0.1	
鋼橋上部工	銘板工	橋名板	材質	枚	1	
鋼橋上部工		橋歴板		枚	1	
鋼橋上部工	架設工	シート架設		t	0.1	
鋼橋上部工	屋根コンクリート工	溶接金網	線径 網目	m2	1	
歩道橋本体工	橋脚フーチング工	アンカーフレーム架設		基	1	
歩道橋本体工		アンカーフレーム注入モルタル		基	1	
歩道橋本体工	歩道橋架設工	歩道橋架設		t	0.1	
歩道橋本体工		側道橋架設		t	0.1	
歩道橋本体工		橋面舗装	コンクリート規格	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
歩道橋本体工		手摺	高さ	m	1	
歩道橋本体工		高欄		m	1	
歩道橋本体工		足場	安全ネットの有無	(箇所)	(1)	
歩道橋本体工		防護		(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工	橋梁足場工	架設足場	橋梁の種類	(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		床版足場	橋梁の種類	(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		塗装足場	橋梁の種類	(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		側面塗装足場		(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		支承設置用足場		(m)	(1)	
鋼橋足場等設置工	橋梁防護工	板張防護		(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		シート張防護		(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工		ワイヤーブリッジ防護		(m2)	(10)	
鋼橋足場等設置工	昇降用設備工	登り梯橋		(箇所)	(1)	
鋼橋足場等設置工		工事用エレベーター		(基)	(1)	
コンクリート橋上部工	桁製作工・床版・横組工	プレテンション桁製作		本	1	
コンクリート橋上部工		ポストテンション桁製作	鉄筋規格 コンクリート規格 PCケーブルの種類	本	1	
コンクリート橋上部工		プレキャストセグメント製作	桁規格	本	1	
コンクリート橋上部工		プレキャストセグメント主桁組立	PCケーブル規格	本	1	
コンクリート橋上部工		プレビーム桁製作	桁規格	本	1	
コンクリート橋上部工		機械器具損料		式	1	
コンクリート橋上部工		PCケーブル	PCケーブル種類	m	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
コンクリート橋上部工		PCケーブル	PCケーブル種類	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
コンクリート橋上部工		PCケーブル・緊張	緊張区分 PC規格 PC鋼棒規格	ケーブル	1	
コンクリート橋上部工		緊張	PCケーブル種類 定着装置	ケーブル	1	
コンクリート橋上部工		PC鋼棒	鋼棒径・種別 継手種別	m	1	
コンクリート橋上部工		PC緊張	緊張区分 PCケーブル種類	箇所	1	
コンクリート橋上部工		PC固定	電源区分 緊張区分 PCケーブル種類	箇所	1	
コンクリート橋上部工		PC継手	電源区分 緊張区分 PCケーブル種類	箇所	1	
コンクリート橋上部工		横締めケーブル	電源区分 緊張区分 PCケーブル種類	m	1	
コンクリート橋上部工		鉛直締めケーブル	電源区分 PCケーブル種類	m	1	
コンクリート橋上部工		横締め緊張		箇所	1	
コンクリート橋上部工		鉛直締め緊張	電源区分 PCケーブル種類	箇所	1	
コンクリート橋上部工		取付桁結合解放		回	1	
コンクリート橋上部工	架設工(押し架設)	仮支柱		基	1	
コンクリート橋上部工		プレフレクション		回	1	
コンクリート橋上部工		リリリース		回	1	
コンクリート橋上部工		主桁解体		主桁本	1	
コンクリート橋上部工		桁組立		主桁本	1	
コンクリート橋上部工		横桁取付		箇所	1	
コンクリート橋上部工		部分プレストレス		径間	1	
コンクリート橋上部工		移動型枠		(m2)	(1)	
コンクリート橋上部工		円筒型枠		(m)	(1)	
コンクリート橋上部工		主桁製作設備		式	1	
コンクリート橋上部工	架設工	桁小運搬		本	1	
コンクリート橋上部工		桁架設	規格 桁種類	本	1	
コンクリート橋上部工		柱頭部仮支承		m2	1	
コンクリート橋上部工		桁架設(片持架設)	規格 桁種類	基	1	
コンクリート橋上部工		ベント・鉄塔基礎		式	1	
コンクリート橋上部工		押出装置		基	1	
コンクリート橋上部工		滑り装置		基	1	
コンクリート橋上部工		手延べ桁		基	1	
コンクリート橋上部工		桁架設(押し架設)	規格 桁種類	回	1	
コンクリート橋上部工	落橋防止装置工	落橋防止装置	材質規格(寸法等)	組	1	
コンクリート橋上部工	架設支保工	支保工基礎		(m2)	(1)	
コンクリート橋上部工		支保	支保耐力〇〇以上	(空m3)	(10)	
コンクリート橋上部工	支承工	ゴム支承	橋種 反力 寸法	個	1	
コンクリート橋上部工		金属支承設置	支承規格	個	1	
コンクリート橋上部工		変位制限装置		組	1	
コンクリート橋上部工		ジョイントプロテクター		組	1	
コンクリート橋上部工	橋梁付属物工	鋼・ゴム製伸縮装置	伸縮装置規格	m	0.1	
コンクリート橋上部工		鋼製伸縮装置	伸縮装置規格	t	0.1	
コンクリート橋上部工		埋設ジョイント	ジョイント規格	m	1	
コンクリート橋上部工		排水柵	柵規格	箇所	1	
コンクリート橋上部工		排水管	管規格	m	1	
コンクリート橋上部工		場所打地覆	形状寸法	m	1	
コンクリート橋上部工		プレキャスト地覆	ブロック規格 底幅 高さ	m	1	
コンクリート橋上部工		橋梁用防護柵		m	1	
コンクリート橋上部工		橋梁用高欄	材質 作業区分 高欄形式	m	1	
コンクリート橋上部工		検査路		t	0.1	
コンクリート橋上部工		鉛板	材質 寸法	枚	1	
コンクリート橋上部工	橋梁防護工	PC防護		m2	1	
コンクリート橋上部工	輸送工	現場取卸(鋼桁)		t	0.1	
コンクリート橋上部工	シェッド購入工	シェッド部材材料費	材質規格(寸法等)	本	1	
コンクリート橋上部工	躯体工	排水マット	材質規格	m	1	
トンネル(NATM)	トンネル掘削工・支保工	掘削・支保	支保構造区分 岩区分 切羽監視責任者の有無 鏡吹付工の有無	(m)	(0.1)	
トンネル(NATM)	支保工	吹付	材料規格 吹付厚	m	0.1	
トンネル(NATM)		鋼製支保	岩区分	(m)	(0.1)	
トンネル(NATM)		金網		m	0.1	
トンネル(NATM)	覆工・防水工	覆工コンクリート・防水	支保構造区分 岩区分	m	0.1	
トンネル(NATM)		覆工コンクリート(妻部)	岩区分 巻厚 コンクリート規格	箇所	1	
トンネル(NATM)		側壁コンクリート	岩区分 巻厚 コンクリート規格	m	0.1	
トンネル(NATM)		床版コンクリート	巻厚 コンクリート規格	m	0.1	
トンネル(NATM)	インパート工	インパート掘削	岩区分	m	0.1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
トンネル(NATM)		インバート	岩区分 巻厚 コンクリート規格	m	0.1	
トンネル(NATM)	坑内付帯工	箱抜	岩区分 コンクリート規格	箇所	1	
トンネル(NATM)		裏面排水	材料規格	m	1	
トンネル(NATM)		湧水処理	材料規格 削孔の有無 削孔長	箇所	1	
トンネル(NATM)		中央排水	管種 管径	m	1	
トンネル(NATM)		横断排水	管種 管径	箇所	1	
トンネル(NATM)		集水樹	集水樹種類 現場打材種類 コンクリート規格 基礎コンクリート規格	箇所	1	
トンネル(NATM)	坑門工	斜面ボルト	材料規格 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		坑口処理		箇所	1	
トンネル(NATM)		型枠(セントル)		(m2)	(10)	
トンネル(NATM)	掘削補助工A	フォアバイリング	岩区分 材料規格 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		先受け矢板	材料規格 長さ	枚	1	
トンネル(NATM)		岩盤固結	材料規格	m3	10	ただし100m3未満の場合 は1m3
トンネル(NATM)		増し吹付	材料規格 吹付厚 補強材有無・規格	m2	1	
トンネル(NATM)		増しロックボルト	材料規格 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		鏡吹付	材料規格 吹付厚	m2	1	
トンネル(NATM)		鏡ロックボルト	材料規格 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		仮インバート	材料規格 巻厚 補強材有無・規格	m2	1	
トンネル(NATM)		ミニバイブルーフ	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)	掘削補助工B	水抜きボーリング	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		垂直縫地	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		バイブルーフ	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)		押え盛土	材料規格 改良材添加量	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
トンネル(NATM)		薬液注入	注入材料	m3	10	
トンネル(NATM)		ディーブウェル	径 深さ	日	1	
トンネル(NATM)		ウエルポイント	ポンプ組数	日	1	
トンネル(NATM)		トンネル仮巻きコンクリート	コンクリート規格 巻厚	m	1	
トンネル(NATM)		各種設備		式	1	
共同溝	掘削工	掘削	土留方式	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
共同溝	埋戻し工	埋戻し	土質区分 土質	m3	100	ただし1,000m3未満の 場合は10m3
共同溝	現場打構築工	防水	施工種別 材質	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
共同溝		防水保護	施工種別 モルタル規格	m2	10	ただし100m2未満の場合 は1m2
共同溝		防水壁	コンクリート規格	箇所	1	
共同溝		目地材	目地材種類・厚さ	m2	1	
共同溝		止水板	止水板種類・寸法	m	1	
共同溝	プレキャスト構築工	プレキャスト躯体	種類 形状・寸法	個	1	
共同溝		PC鋼材	材質 種類	m	1	
共同溝		縦・横締め緊張	電源区分 緊張区分 PCケーブル種類	箇所	1	
共同溝		可とう継手	内幅 内高	箇所	1	
共同溝		コーキング	材質 種類	m	1	
共同溝		シール		m	1	
共同溝	付帯設備工	グレーチング	蓋種類	組	1	
共同溝		蓋	蓋種類	組	1	
共同溝		排水管	管規格	m	1	
共同溝		ルーフトレーン	材質 管径	個	1	
共同溝		換気防護柵	高さ	箇所	1	
共同溝		梯子	寸法	本	1	
共同溝		ステップ	ステップ規格	本	1	
共同溝		タラップ	寸法	本	1	
共同溝		手摺	高さ	m	1	
共同溝		銘板	材質 寸法	枚	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
共同溝	現場打駆体工(構造物単位)	共同溝	コンクリート規格 規格 土被り 内幅 内高	m3	1	
共同溝	管路工(管路部)	埋設表示シート	シート規格	m	1	
電線共同溝	掘削工	開削掘削	土質	m3	100	ただし1,000m3未満の場合 は10m3
電線共同溝	埋戻し工	埋戻し	土質区分 土質	m3	100	ただし1,000m3未満の場合 は10m3
電線共同溝	電線共同溝工	管路	材質 径	m	1	
電線共同溝		プレキャストボックス	作業区分 内幅 内高 基礎材種別	個	1	
電線共同溝		蓋	蓋種類	組	1	
電線共同溝	付帯設備工	ハンドホール	寸法	箇所	1	
電線共同溝	管路工(管路部)	埋設表示シート	シート規格	m	1	
電線共同溝		スリーブ		個	1	
電線共同溝		伸縮継手		個	1	
植栽維持工	樹木・芝生管理工	樹木せん定	樹種 樹高	本	1	
植栽維持工		寄植せん定	樹種 樹高	m2	10	
植栽維持工		補植	樹木規格 土壌改良材の有無 植樹割増しの有無	本	1	
植栽維持工		移植	施工内容(移植) 施工規模(移植) 施工内容(植樹)	本	1	
植栽維持工		支柱	支柱形式 施工区分 規格・仕様	本	1	
植栽維持工		抜根除草	施工内容 施工規模 施工場所別補正	m2	10	
植栽維持工		樹木施肥	肥料種類	本	1	
植栽維持工		寄植・芝施肥	肥料種類 施工内容 施工規模 施工場所別補正	m2	10	
植栽維持工		灌水	灌水時期	m2	10	
植栽維持工		防除	薬剤種類 施工内容 施工規模 時間制約補正 夜間作業補正 施工場所別補正	本	1	
植栽維持工		寄植・芝薬剤散布	薬剤種類 施工内容 施工規模 施工場所別補正	m2	10	
植栽維持工		芝刈	芝種類	m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持	河川巡視工	緊急巡視		回	1	
河川維持	堤防除草工	除草		m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持	芝養生工	施肥	肥料種類 肥料使用量	m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持		抜根	抜根作区分 タイヤ損耗費	m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持	伐木除根工	伐木除根	樹木・竹の区分 樹木密集度	m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持	塵芥処理工	散在塵芥収集		m2	1,000	ただし100,000m2未満 の場合は100m2
河川維持		堆積塵芥収集		m3	10	ただし100m3未満の場 合は1m3
河川維持	水面清掃工	水面清掃		日	1	
河川維持	応急処理作業	応急作業	作業形態	日	1	
河川維持	ボーリンググラウト工	注入	注入材料規格 注入日数 注入量	m3	1	
河川維持		注入設備据付解体		回	1	
河川維持	欠損部補修工	欠損部取壊し		m3	1	
河川維持		欠損部補修	補修工法	m3	1	
河川維持	不陸整正工	不陸整正・締固め	補修材の有無 補修材の種類 補修材の厚さ	m2	1	
河川維持	付属物復旧工	調整ポスト	支柱間隔	個	1	
河川維持	付属物設置工	標識		基	1	
河川維持	塵芥処理工	処分費		t	1	
河川維持	樹木・芝生管理工	補植	樹種 樹高	本	1	
道路修繕	路面切削工	路面切削	施工区分・平均切削深さ 段差すりつけ撤去作業の有無	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
道路修繕	舗装打換え工	舗装版切断	舗装版種別 舗装厚	m	10	ただし100m未満の場合 は1m
道路修繕		舗装版破砕	舗装版種別	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2
道路修繕	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ	全面切削深さ 舗設層数 段差すりつけ区分 アスファルト材料種類	m2	10	ただし1,000m2未満の 場合は1m2



[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
道路修繕	舗装打換え工・オーバーレイ工	中間層	材料種類 材料規格 舗装厚 平均幅員	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
道路修繕	路上路盤再生工	路上路盤再生	混合深さ 混合用乳剤の有無 養生工の有無 砂散布の有無	m2	10	ただし1,000m2未満の場合は1m2
道路修繕	床版補強工(鋼板接着・増桁架設工法)	鋼板接着		m2	1	
道路修繕		クラック処理	使用材料の種類	m	1	
道路修繕		足場	安全ネットの有無	(m2)	(10)	
道路修繕		防護		(m2)	(10)	
道路修繕		増桁架設	障害の有無	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
道路修繕	床版増厚補強工	表面荒らし		m2	1	
道路修繕	床版取替工	鋼製高欄取替	作業区分 高欄形式	m	1	
道路修繕		床版運搬処理	処理費の有無 作業内容積込 工法区分	m3	1	
道路修繕	鋼桁補強工	現場溶接鋼桁補強		m	1	
道路修繕	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修	伸縮装置補修	m	0.1	
道路修繕		埋設ジョイント補修	ジョイント規格 伸縮装置断面積 工種 取付部位 工法区分 補修形式	m	0.1	
道路修繕	鋼橋・PC支承工	支承取替	支承形式 現場条件	基	1	
道路修繕	トンネル補修工	低圧注入工法	1トンネル当り補修延べ延長 材料種類	トンネル	1	
道路修繕	検査路工	検査路		t	0.1	
道路修繕	沓座拡幅工	チッピング		m2	1	ただし10m2未満の場合は0.1m2
道路修繕		削孔	削孔工法 削孔土質	孔	1	
道路修繕		アンカーボルト挿入	アンカーボルト種類 注入材材質	本	1	
道路修繕		鋼製沓座設置	鋼製沓座種類 設置箇所数	箇所	1	
道路修繕	排水施設工	排水樹	樹規格	箇所	1	
道路修繕		排水管	管規格	m	1	
道路修繕	横断歩道橋工	高欄・手摺		t	0.1	
道路修繕		側板	作業区分 側板規格	t	0.1	
道路修繕		ノンスリップ	ノンスリップの規格	m	1	
道路修繕	RC橋脚鋼板巻立て工	鋼板取付	注入材材質	m2	1	
道路修繕		現場溶接	平均板厚	m	1	
道路修繕		定着用アンカー	径 削孔長	箇所	1	
道路修繕		円形基部補強版		段	1	
道路修繕		根巻きコンクリート	コンクリート規格	m3	1	
道路修繕	橋脚コンクリート巻立て	コンクリート削孔	径 削孔長 アンカー材の有無 アンカー材長さ	箇所	1	
道路修繕		コンクリート巻立て	支柱区分 施工内容 コンクリート規格 養生費 コンクリート夜間割増の有無	m3	1	
道路修繕		下地処理		m2	1	
道路修繕	現場塗装工	素地調整	調整工種別	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
道路修繕		塗装(下・中・上塗)	塗装種別 塗装箇所 塗装回数	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
道路修繕		張紙防止塗装	塗料種別	m2	10	ただし100m2未満の場合は1m2
道路修繕		コンクリート面・岩盤清掃		m2	1	
道路修繕	トンネル工	内装板	内装板材質	m2	1	
道路修繕		裏込注入	注入材種類 配合 トンネル種別 トンネル平均距離 足場の有無	m3	1	
道路修繕		面導水	導水材種類	m2	1	
道路修繕		線導水	導水材種類	m	1	
道路修繕		鋼板巻立て	支柱区分 注入材材質	m2	1	
道路修繕		グルーピング	溝寸法・溝間隔 施工規模 舗装面種類	m2	1	
道路修繕		グルーピング(路面排水用)	溝寸法 舗装面種類	m	1	
道路修繕		鋼・ゴム製伸縮装置補修	工種 伸縮装置本体形式 仕様 本体材料の計上の有無	m	1	
道路修繕	橋梁補修工	橋梁地覆補修	コンクリート規格 鉄筋材料規格・径	m	1	
道路修繕		下地処理	1橋当りの延べ施工量	橋	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
道路修繕		プライマー塗布	1橋当りの延べ施工量 材料種類	橋	1	
道路修繕		下塗り(パテ塗布)	1橋当りの延べ施工量 材料種類	橋	1	
道路修繕		中塗り材塗布	1橋当りの延べ施工量 材料種類	橋	1	
道路修繕		上塗り材塗布	1橋当りの延べ施工量 材料種類	橋	1	
道路維持	巡視・巡回工	通常巡回	巡回車種類 巡回時間帯	回	1	
道路維持		緊急巡回	巡回車種類 巡回時間帯	回	1	
道路維持	コンクリート舗装補修工	アスファルト注入	材料種類 削孔数	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t
道路維持		舗装版目地補修	材料種類	m	1	
道路維持		クラック処理	使用材料の種類	m	1	
道路維持	アスファルト舗装維持工	わだち掘れ補修	材料種類	m2	1	
道路維持		パッチング	材料種類	t	0.1	
道路維持	付属物復旧工	ガードケーブル復旧	ガードケーブル規格 材料費の有無 作業条件	m	1	
道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類 柵高 支柱間隔 根巻コンクリートの有無 施工区分 施工規模	m	1	
道路維持		路側標識復旧	柱規格 柱長さ 塗装仕様 曲げ支柱有無 施工規模	基	1	
道路維持		標識板復旧	標識板規格 添架形式[標識設置箇所] 施工規模	枚	1	
道路維持		視線誘導標復旧	視線誘導標 規格施工区分 施工規模	本	1	
道路維持		距離標復旧	距離標規格 作業区分	本	1	
道路維持		張紙防止シート復旧	シート種類	m2	1	
道路維持	路面清掃工	路面清掃(機械)	作業形態	km	0.1	
道路維持		路面清掃(路肩部・人力)	作業形態 塵芥量	km	0.1	
道路維持		路面清掃(歩道・人力)	作業形態 塵芥量	m2	1	
道路維持		路面清掃(歩道橋・地下道・人力)	作業形態 塵芥量	m2	1	
道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)	作業形態 塵芥量	m2	1	
道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)	作業形態 側溝蓋規格	m	10	
道路維持		側溝清掃(機械)	作業形態	km	0.01	
道路維持		管渠清掃	作業形態 作業量区分 排水管清掃車使用区分 散水車の使用区分 散水車機種	m	10	
道路維持		樹清掃	作業形態 機械使用区分 土砂厚	箇所	1	
道路維持	橋梁清掃工	伸縮継手清掃	作業形態	m	1	
道路維持		排水管清掃	作業形態 高所作業車の機械使用条件	m	10	
道路維持	道路付属物清掃工	ガードレール清掃	作業形態 支柱清掃の有無 ガードレール清掃車の使用区分 散水車の使用区分 散水車機種 ガードレール清掃車機種	km	0.1	
道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)	作業形態	km	0.1	
道路維持		トンネル照明器具清掃(人力)	作業形態 高所作業車の機械使用条件	灯	1	
道路維持		視線誘導標清掃	作業形態	本	1	
道路維持		トンネル壁面清掃	作業形態 散水車使用区分 ブラシ使用区分 (貸与の場合)散水車機種	m2	1	
道路維持	道路除草工	除草		m2	1,000	ただし100,000m2未満の場合は100m2
道路維持	応急処理工	応急作業	作業形態	日	1	
道路維持	冬季安全施設工	スノーポール設置・撤去	スノーポール種類 作業区分 スノーポール材料の計上	本	1	
道路維持		防雪柵	防雪防護柵種類 柵高	m	1	
道路維持		落雪(せり出し)防護柵	防雪防護柵種類 柵高	m	1	
道路維持		防雪柵現地張出・収納	防雪柵種類 作業区分	m	1	

[別表-1]

工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格 (レベル5)	単位	数値	備考
道路維持		転落(横断)防止柵復旧	防護柵種類 柵高 支柱間隔 根巻コンクリートの有無 施工区分 施工規模	m	1	
道路維持		路側標識復旧	柱規格 柱長さ 塗装仕様 曲げ支柱有無 施工規模	基	1	
道路維持		標識板復旧	標識板規格 添架形式[標識設置箇所] 施工規模	枚	1	
道路維持		視線誘導標復旧	視線誘導標 規格施工区分 施工規模	本	1	
道路維持		距離標復旧	距離標規格 作業区分	本	1	
道路維持		張紙防止シート復旧	シート種類	m <sup>2</sup>	1	
電気通信		ケーブル		m	10	ただし1,000m未満の場合 は1m
電気通信		電線		m	10	ただし1,000m未満の場合 は1m
電気通信		電線管		m	10	ただし1,000m未満の場合 は1m
機械		鋼材類		t	0.01	ただし1t未満の場合は 0.001t

(6) 作業の施工基面について

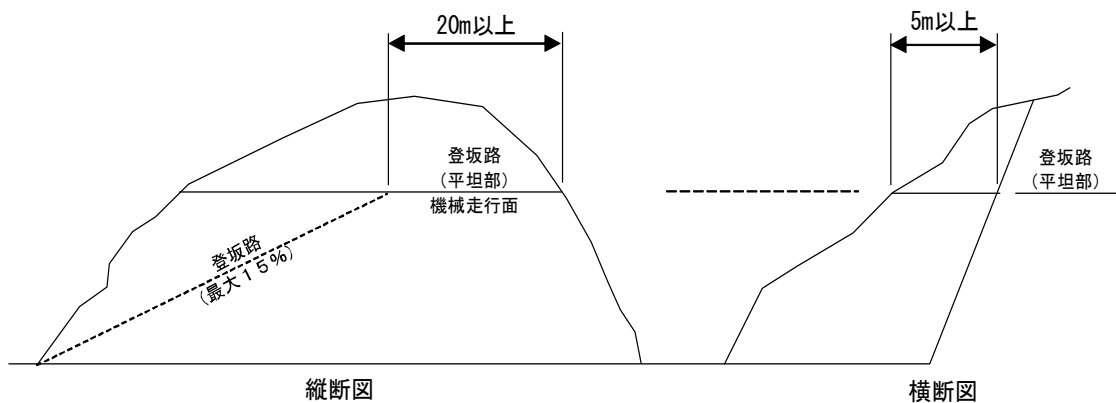
掘削(切土)における掘削機械の施工基面は下記のとおりとする。

- ① 機械の施工基面は、機械走行幅として必要な切取幅5mが確保できる面とする。
  - ② ダンプトラックの登坂路が可能な場合は、登坂路を考慮して施工基面を決定する。
- なお、油圧ショベル、ブルドーザ等掘削機械の登坂路は考慮しない。

(7) ダンプトラック登坂路の検討

掘削後ダンプトラックにより土砂搬出する場合において、下記の条件を満たすときは登坂路を検討する。

- ① ダンプトラックの登坂路として、幅員5mを確保し、登坂路の勾配は次を目安とすること。  
土砂運搬の場合最大15%、資材・機材の搬入搬出がある場合最大10%程度  
勾配は、資材種別、運搬車種などを考慮のうえ適宜設定する。
- ② 積込箇所の作業ヤードとして延長20m以上の平坦部が確保できること。



(8) 登坂路を設ける場合の掘削機械の選定

- ① 掘削機械の機械走行面は、ダンプトラックが走行する登坂路の路面とする。
- ② 掘削機械の走行幅が5m以上ある場合、登坂路上方5mの高さの範囲、及び登坂路下方5mの高さの範囲の掘削はバックホウのオープンカットを適用する。
- ③ 上記②以外で、登坂路面から上方5mの高さを越え切取幅が5mまでの範囲の掘削は、ブルドーザ or バックホウを適用する。

(9) ブルドーザの流用距離

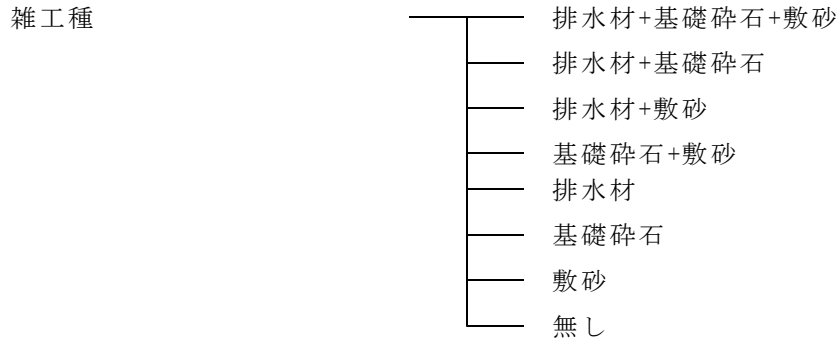
ブルドーザの最大流用距離は60mまでを標準とする。

60mを超える場合はバックホウ+ダンプトラックを標準とする。

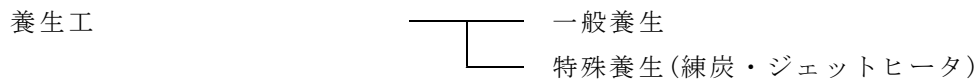
これによりがたい場合は別途考慮する。

2. 雑工種における材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。
3. 発泡スチロールブロックの固定のためにL型ピンの設置が必要な場合は別途考慮する。
4. コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合は別途考慮する。
5. ベースプレート式H型鋼支柱(H型鋼規格はH300mm×300mm以下、長さ9m以下)を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。
6. 壁面材1枚当りの規格は、長さ2.5m以下、幅0.6m以下、重量170kg以下を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。
7. 複数段積みの場合、雑工種による区分は、平面的に(上から見て)区分する。

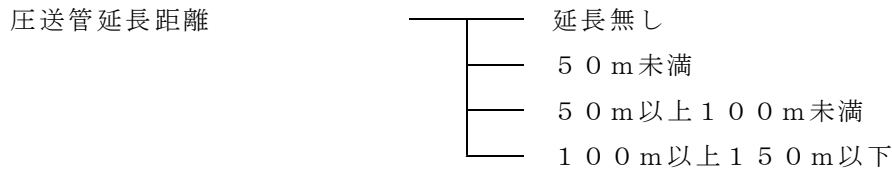
(2) 発泡スチロール設置の雑工種による区分は、以下のとおりとする。



(3) コンクリート床版の養生工による区分は、以下のとおりとする。



(4) コンクリート床版の生コンクリート規格による区分は、以下のとおりとする。

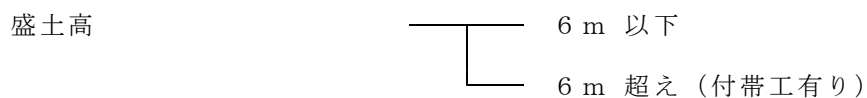


注) 圧送管延長距離区分は、作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合に、超えた部分の延長距離を該当する区分から選択する。

(5) コンクリート床版の床版厚さによる区分は、以下のとおりとする。



(6) 裏込碎石(軽量盛土)の盛土高による区分は、以下のとおりとする。



## 6. 3 補強盛土工

### 1. 適用

ジオテキスタイル（ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布）を用いた補強盛土及びジオテキスタイル補強土壁（鋼製枠タイプ）に適用する。  
ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。

### 2. 数量算出項目

ジオテキスタイル壁面材組立・設置、ジオテキスタイル壁面材（材料費）、ジオテキスタイル敷設、まき出し・敷均し、締固め、ジオテキスタイル（材料費）の数量を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、規格とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

区分項目	規格	単位	数量	備考
ジオテキスタイル壁面材組立・設置	○	m <sup>2</sup>		
ジオテキスタイル壁面材（材料費）	○	m <sup>2</sup>		
ジオテキスタイル敷設	○	m <sup>2</sup>		
まき出し・敷均し、締固め	○	m <sup>3</sup>		
ジオテキスタイル（材料費）	○	m <sup>2</sup>		

注) 1. 壁面材の種類は下表を標準としており、これにより難しい場合については別途考慮する。

壁面材種類	規格		備考
	幅 (mm)	一層当り施工高	
鋼製枠タイプ	2,000	500mm以下	タイプA
	2,000	600mm以下	タイプB
	1,000	600mm以下	タイプC
	1,200	600mm以下	タイプD

2. 補強盛土1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。

(2) クレーン規格、相吊クレーン規格による区分は、以下のとおりとする。

クレーン規格	—	ラフテレーンクレーン排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型25t吊
相吊クレーン規格	—	ラフテレーンクレーン排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型35t吊
	—	ラフテレーンクレーン排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型45t吊
	—	ラフテレーンクレーン排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型50t吊
	—	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型100t吊
	—	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型120t吊
	—	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型160t吊
	—	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型200t吊
	—	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型360t吊

(3) 相吊クレーンの有無による区分は、以下のとおりとする。

相吊クレーンの有無	—	有り
	—	無し

(4) DID区間の有無による区分は、以下のとおりとする。

DID区間の有無	—	有り
	—	無し

関連数量算出項目

項目	単位	数量	備考
足場・防護・ベント等			「第3編(道路編)4.4鋼橋架設工及び4.5仮設工」参照
現場発生品運搬	t		必要な場合別途計上

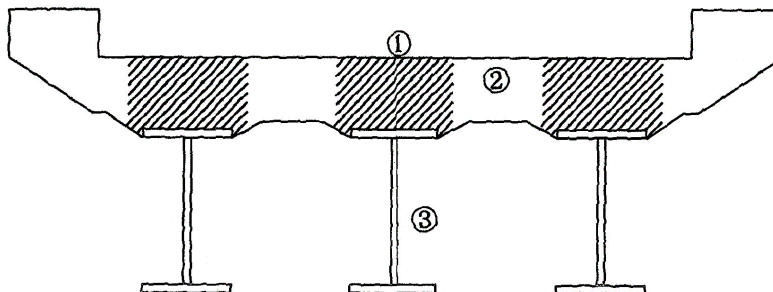
4. 数量算出方法

数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」による。

(参考)

ブロック施工(床版分割施工)とは、コンクリート殻を桁下に落とすことができず、ある程度のブロック状に1次破碎後、鉄筋をガス切断したのちクレーン等でブロックを吊り上げて、撤去する工法である。

なお、「床版1次破碎・ブロック塊撤去」から「桁1次切断・撤去」の作業順序は、次のとおりである。

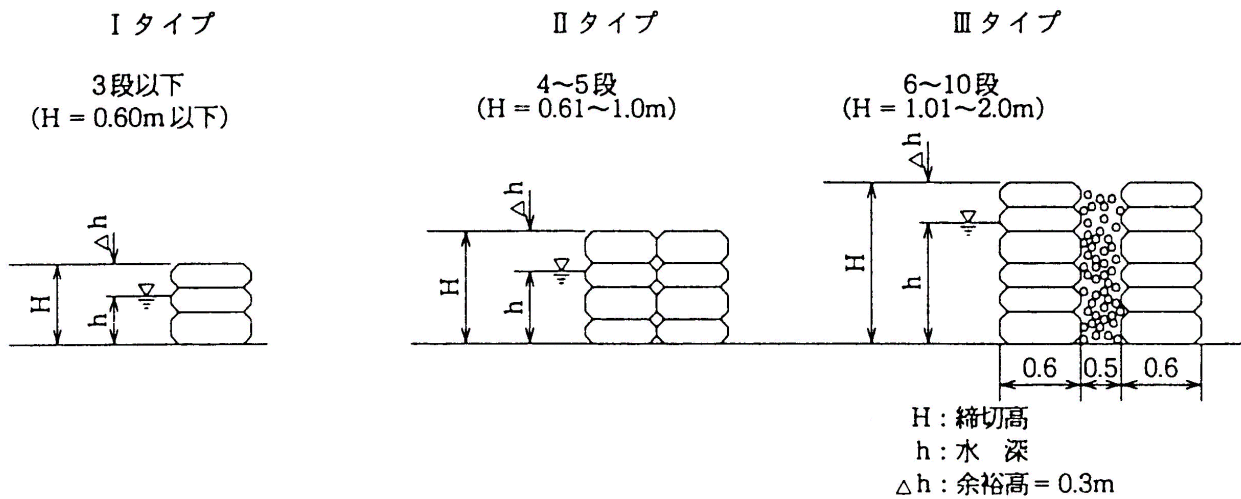


作業順序は、①の斜線部を大型ブレーカーで1次破碎後、鉄筋をガス切断、②のブロック塊をラフテレーンクレーンで撤去し、③の桁切断・撤去を行う。

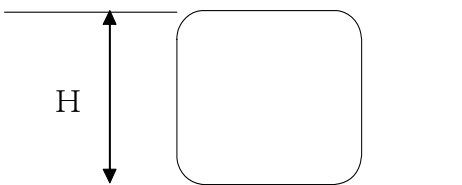


(2) 列数、段数区分

土のうの延長は次の区分による。



大型土のうタイプ  
( $H = 1.1\text{m}$ )



- (注) 1.  $62 \times 48\text{cm}$ のポリエチレン製を使用する場合の、土のう1枚当りの中詰土は  $0.02\text{m}^3$ とする。
2. 大型土のうは、1袋あたり  $1.1\text{m}$ (幅)  $\times$   $1.1\text{m}$ (高さ)により必要数量を算出する。
3. 大型土のうは、耐候性を標準とし、耐用年数については工程を考慮し適切に選択すること。
4. 転用回数制限はないが、受注者の責によらない現場条件等により、転用できないと判断できる場合は必要に応じて設計変更すること。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるものとする。

## 5. 設計変更を行う場合の留意点

① 作業時排水から常時排水への変更を行う場合は、常時排水が必要であることの状況説明（軟弱化・法面崩壊・細粒分発生・法先洗掘など）の写真等を受注者が用意し、工事監督員に提出する。（必要に応じて地質調査・土質調査資料を添付）

② 排水量の測定方法は次を参考とすること。

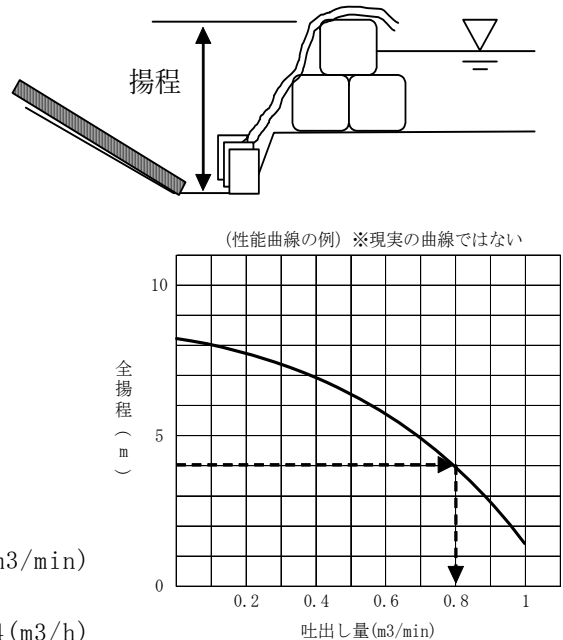
(a) ポンプの性能による方法

現場において実際に設置したポンプの台数と、ポンプのカタログ等に記載の吐出し量から求める。なお、カタログ等の性能曲線における全揚程は、床掘下面から、締切の上端までの高さ(揚程)を用いるものとする。

また、実際に設置したポンプと、カタログ等が同一であることを確認できるように、受注者はポンプの設置状況およびポンプの品番等を写真により記録し、工事監督員に提出する。

《算出例》実際に設置したポンプが3台、揚程が4m、カタログの性能曲線が右の図の場合

全揚程＝揚程＝4mなので、  
性能曲線で全揚程4mの場合、吐出し量0.8(m<sup>3</sup>/min)となる。単位がmin(分)なので、60倍して、  
3(台) × 0.8(m<sup>3</sup>/min) × 60(min/h) = 144(m<sup>3</sup>/h)

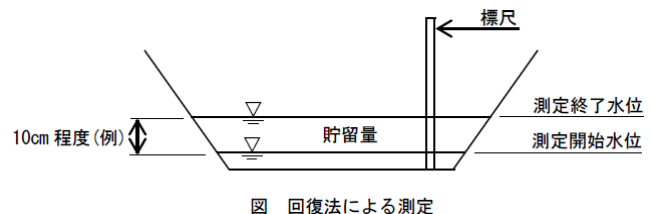


(b) 水槽による測定

ポンプにより締切内水位を掘削底面付近で一定に保ち、ポンプ排水口を水槽に放出し、水槽の放水口に三角堰等を設置して越流水深を測定し、排水量を算出する。または、水槽への貯留量・貯留時間を測定し排水量を算出する。

(c) 回復法

工事排水中に一旦ポンプを停止、掘削底面を水面内に浸して、一様な水面になってから、水位の回復に要する時間を計測し、この間の貯留量を求める。



③ 作業前排水の排水量の算定における留意事項

日々の工事開始前の排水（作業前排水）について、排水量は作業前排水時間を1～3(h)として計算する。

《作業前排水の排水量の算出例》

締切内の作業前湛水量 300(m<sup>3</sup>)、作業前排水時間 3(h)、  
作業時排水量（透水量に対応）40(m<sup>3</sup>/h)の場合

作業前排水量 (m<sup>3</sup>/h) = 作業前湛水量300(m<sup>3</sup>) ÷ 作業前排水時間3(h) + 作業時排水量40(m<sup>3</sup>/h)  
= 140(m<sup>3</sup>/h)

※ 作業前湛水量は、締切内水位が河川水位まで上がるものとし、締切内平均面積×水位として算出。

※ 締切内平均面積の算出にあたっては、過大な面積とならないよう、仮設工等の設計図面や現場条件を考慮し算出すること。

## 1 1. 1 2 敷鉄板設置撤去工

### 1. 適用

工事用道路工事等において、軟弱地盤等により工事用車両の通行に支障がある場合の敷鉄板設置・撤去作業に適用する。

なお、工事用道路（工事車両用の仮設道路であって、一般車両が通行するものを除く）については、原則、敷鉄板を使用する。ただし、災害復旧工事や、小規模な工事の場合、土地管理者との協議結果等により、敷鉄板の使用が適さない場合は除く。

### 2. 数量算出項目

敷鉄板の面積、枚数を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、施工箇所、規格とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目 \ 区分	施工箇所	規格	単位	数量	備考
敷鉄板	○	○	m2		
			枚		

#### (2) 施工箇所区分

施工箇所（ブロック）毎に区分して算出する。

#### (3) 規格区分

敷鉄板の種類、寸法（厚さ×幅×長さ）毎に区分して算出する。

### 4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章 基本事項」によるものとする。

## 1. 6 コンクリートブロック積(張)工

### 1. 適用

コンクリートブロック積工、コンクリートブロック張工及び緑化ブロック積工に適用する。  
なお、コンクリートブロック積工は、間知ブロック積及び大型ブロック積を対象とし、コンクリートブロック張工は、平ブロック張及び連節ブロック張を対象とする。

### 2. 数量算出項目

間知ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、連節ブロック張、緑化ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出防止材(全面)設置、植樹、現場打基礎コンクリート、現場打小口止コンクリート、現場打横帯(隔壁)コンクリート、現場打天端コンクリート、プレキャスト基礎ブロック、プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯(隔壁)ブロック、プレキャスト巻止ブロックの数量を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、規格、構造とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

##### ①コンクリートブロック積(土木工事標準単価を適用)

項目 \ 区分	規格	構造	単位	数量	備考
ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>		
胴込・裏込材	○	×	m <sup>3</sup>		
胴込・裏込コンクリート			m <sup>3</sup>		
鉄筋			kg		
目地材			m <sup>2</sup>		

- 注) 1. コンクリートブロック積工は、勾配が1:1未満、ブロック質量150kg/個未満の場合である。  
2. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。  
3. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。  
4. 吸出防止材および水抜パイプの有無についても記載すること。

##### ②間知ブロック積(施工パッケージ型積算方式を適用)

項目 \ 区分	鉄筋規格	鉄筋 10m <sup>2</sup> 当り 使用量	単位	数量	備考
間知ブロック積	○	○	m <sup>2</sup>		

- 注) 1. 間知ブロック積工は勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上730kg/個以下の場合である。  
2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。

③大型ブロック積

区分	ブロック規格	ブロックの質量	水抜きパイプの有無	単位	数量	備考
大型ブロック積	○	○	○	m <sup>2</sup>		

- 注) 1. 大型ブロック積工は、勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上の場合である。  
 2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。

④間知ブロック張

区分	間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材10m <sup>2</sup> 当り使用量	胴込裏込コンクリート規格	胴込裏込コンクリート10m <sup>2</sup> 当り使用量	遮水シート規格	単位	数量	備考
間地ブロック張	○	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>		

- 注) 1. 間知ブロック張工は法勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下の場合である。  
 2. 設置面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
 3. 間知ブロック張と遮水シート張(ブロック背面)は、同施工面積とする。

⑤平ブロック張

区分	ブロックの質量	平ブロック規格	裏込材規格	裏込材10m <sup>2</sup> 当り使用量	遮水シートの有無	吸出防止材の有無	連結金具の有無	連結金具10m <sup>2</sup> 当り使用量	単位	数量	備考
平ブロック張	○	○	○	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>		

- 注) 1. 平ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。  
 2. 平ブロック張と遮水シート張(ブロック背面)は、同施工面積とする。  
 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。

⑥連節ブロック張

区分	ブロックの質量	連結方法	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	単位	数量	備考
連節ブロック張	○	○	○	○	○	m <sup>2</sup>		

- 注) 1. 連節ブロック張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合である。  
 2. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。  
 3. 設計面積は、調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
 4. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分し、河川護岸においてはさらに低水・高水護岸に区分して算出する。

⑦緑化ブロック積

区分 項目	緑化 ブロック の質量	裏込材 規格	裏込材 10m2 当り 使用量	胴込・ 裏込 コンクリート 規格	裏込・ 胴込 コンクリート 10m2 当り 使用量	単位	数量	備考
緑化ブロック積	○	○	○	○	○	m2		

- 注) 1. 緑化ブロックの積工(勾配1割未満、ブロック質量980kg/個以下)の場合である。  
 2. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯(隔壁)、天端コンクリートは別途計上する。  
 3. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。

⑧胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材(砕石)、遮水シート張、吸出し防止材(全面)設置、植樹

区分 項目	生 コンクリート 規格	ブロック の 種類	ブロック の 質量	胴込 裏込 規格	遮水 シート 規格	単位	数量	備考
胴込・裏込コンクリート	○	○	○	×	×	m3		
胴込・裏込材(砕石)	×	○	×	○	×	m3		
遮水シート張	×	×	×	×	○	m2		
吸出し防止材(全面)設置	×	×	×	×	×	m2		
植樹	×	×	×	×	×	本		

- 注) 1. 施工箇所が点在する場合は、その施工箇所ごとに区分して算出する。

⑨現場打基礎コンクリート、プレキャスト基礎ブロック

区分 項目	生コンクリート 規格	プレキャスト 基礎ブロック 規格	基礎砕石 の有無	養生工の 種類	単位	数量	備考
現場打基礎コンクリート	○	×	○	○	m		
プレキャスト基礎ブロック	×	○	×	×	m		
プレキャスト基礎ブロック (材料費)	×	○	×	×	m		

- 注) 現場打基礎コンクリートは、体積(m3)も算出するとともに、底幅及び高さも示す。

⑩現場打天端コンクリート

区分 項目	生コンクリート 規格	コンクリート 打設条件	養生工の種類	単位	数量	備考
天端コンクリート	○	○	○	m3		

- 注) 1. 目地材は必要に応じて別途計上する。

⑩現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯（隔壁）コンクリート、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック

項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考
現場打小口止コンクリート		○	×	○	m		
プレキャスト小口止ブロック				×	m		
プレキャスト小口止ブロック(材料費)				×	m		
現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m		
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m		
プレキャスト横帯(隔壁)ブロック(材料費)				×	m		
プレキャスト巻止ブロック				×	m		
プレキャスト巻止ブロック(材料費)				×	m		
裏込材				×	m <sup>2</sup>		
目地材				×	m <sup>2</sup>		
基礎材				×	m <sup>2</sup>		

注) 1. 必要に応じて数量を各項目ごとに算出する。

2. 現場打小口止コンクリート及び現場打横帯(隔壁)コンクリートについては、体積(m<sup>3</sup>)も算出すること。

(2) 規格区分

コンクリートブロック積、コンクリートブロック張及び緑化ブロック積、プレキャスト小口止ブロック、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロックは、ブロックの種類、質量、形状及び大きさごとに区分して算出する。

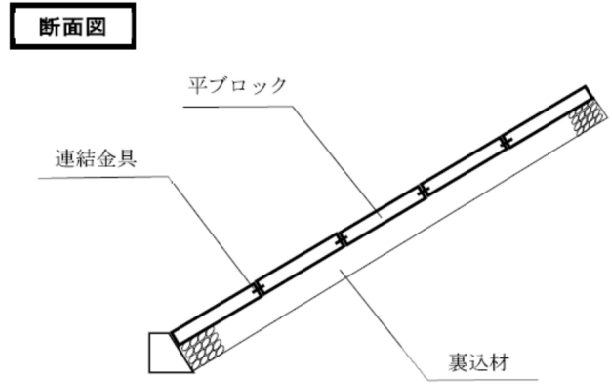
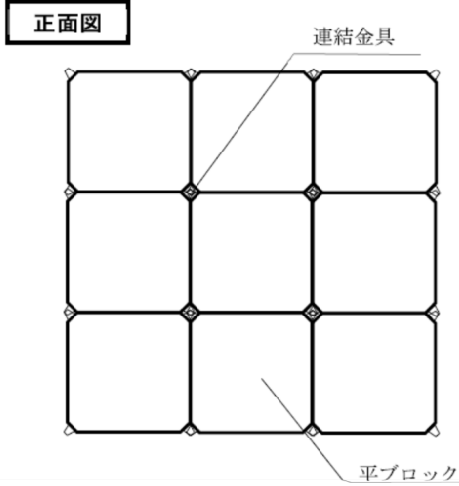
現場打小口止コンクリート、現場打横帯(隔壁)コンクリート及び現場打天端コンクリートは、形状及び寸法ごとに区分して算出する。

(3) 構造区分

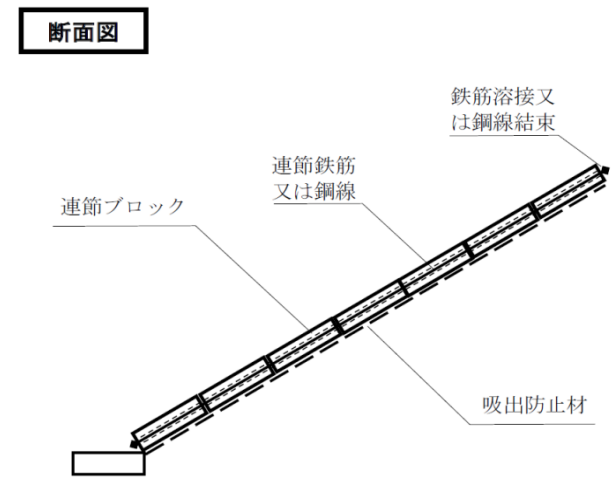
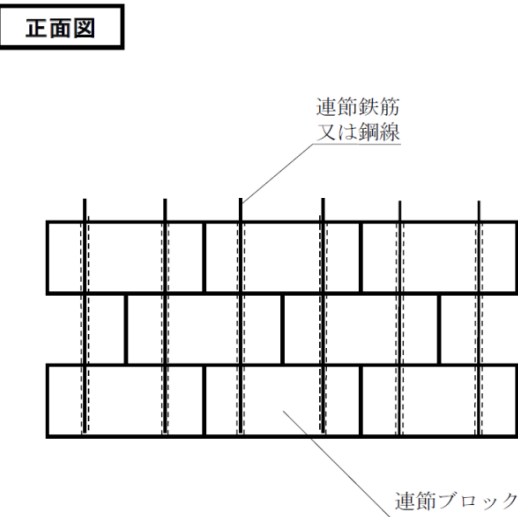
空積（張）及び練積（張）に区分して算出する。



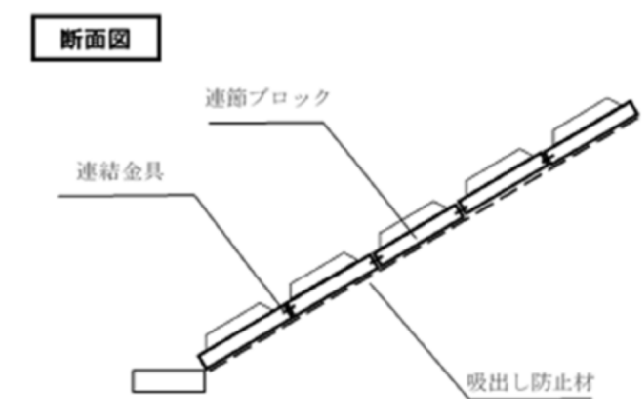
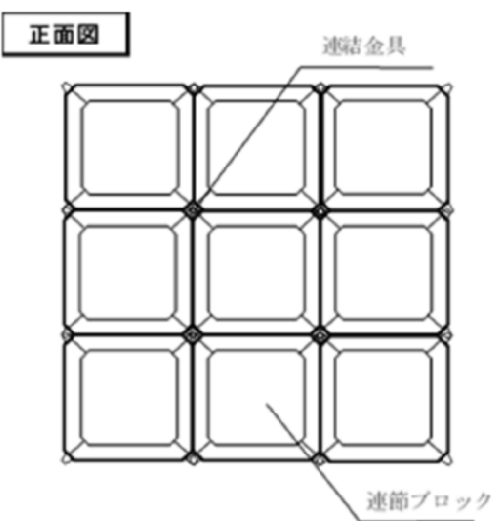
④平ブロック張



⑤連節ブロック張 (鉄筋又は鋼線)



⑥連節ブロック張 (連結金具)



(注) 各ブロック積(張)工の参考図は、一般的な形状を示すものであり、そのブロックの形状を指定するものではない。

### 3.3 副産物の参考重量について

#### 1. 適用

この資料は、仮設として用いる土のう袋及び大型土のう袋の参考重量として示すものである。

実際の重量は、使用状況等により変動するため、当初設計においては下記重量×枚数により算出した数量を概数として計上し、マニフェスト等により実数量を確認したうえで、概数の確定による変更を行うこととする。

名称	規格	単位	参考重量(1枚当り)
土のう袋	48cm×62cm	kg	0.048
大型土のう袋	φ110×108cm(1t用)	kg	2.0
耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 短期仮設対応(1年) (2t用)	kg	2.4
耐候性大型土のう袋	φ110×110cm 長期仮設対応(3年) (2t用)	kg	2.6

(注1) 規格が合致しない場合等、上表によりがたい場合は別途考慮する。